

第 3 章 寡婦

第3章 寡婦

1. 北九州市の寡婦の世帯数

北九州市の令和3年11月1日現在の寡婦は13,151世帯となっている。推計人口（令和3年11月1日現在、北九州市調べ）による総世帯数（436,956世帯）に占める割合（出現率）は3.01%となっている。

表3-1 北九州市の寡婦の世帯数

		総数	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
総世帯数 (世帯)	令和3年	436,956	43,002	96,751	91,821	33,765	30,247	112,974	28,396
	平成28年	427,941	42,956	92,041	88,943	33,847	31,227	111,019	27,908
	平成23年	423,706	44,076	89,873	87,490	33,645	32,121	108,552	27,949
	平成18年	418,553	44,708	88,367	85,355	33,418	33,113	105,251	28,341
寡婦世帯数 (世帯)	令和3年	13,151	1,069	3,122	2,675	1,135	400	3,827	923
	平成28年	26,030	3,111	5,652	5,604	2,096	1,815	6,462	1,290
	平成23年	36,527	4,160	8,823	6,402	2,799	3,128	8,806	2,409
	平成18年	35,864	4,345	8,031	7,019	2,548	2,564	8,737	2,530
構成比 (%)	令和3年	100.0	8.1	23.7	20.3	8.6	3.0	29.1	7.0
	平成28年	100.0	12.0	21.7	21.5	8.1	7.0	24.8	5.0
	平成23年	100.0	11.4	24.2	17.5	7.7	8.6	24.1	6.6
	平成18年	100.0	12.1	22.4	19.8	7.1	7.1	24.4	7.1
出現率 (%)	令和3年	3.01	2.49	3.23	2.91	3.36	1.32	3.39	3.25
	平成28年	6.08	7.24	6.14	6.30	6.19	5.81	5.82	4.62
	平成23年	8.62	9.44	9.82	7.32	8.32	9.74	8.11	8.62
	平成18年	8.57	9.72	9.09	8.33	7.62	7.74	8.30	8.93

※総世帯数は11月1日現在の推計世帯数による。(市企画調整局)

構成比は、小数点第2位を四捨五入しているため100%にならない場合がある。

2. 世帯の状況

(1) 年齢

問1 あなたの年齢は、次の中のどれにあてはまりますか。(○印は1つ)

回答者の年齢は、「55～59歳」が18.5%で最も割合が高く、次いで「60～64歳」が17.1%となっており、55歳以上が全体の71.6%を占めている。

前回調査と比べると、「40～44歳」「55～59歳」「60～64歳」が減少している。

図3-1 年齢

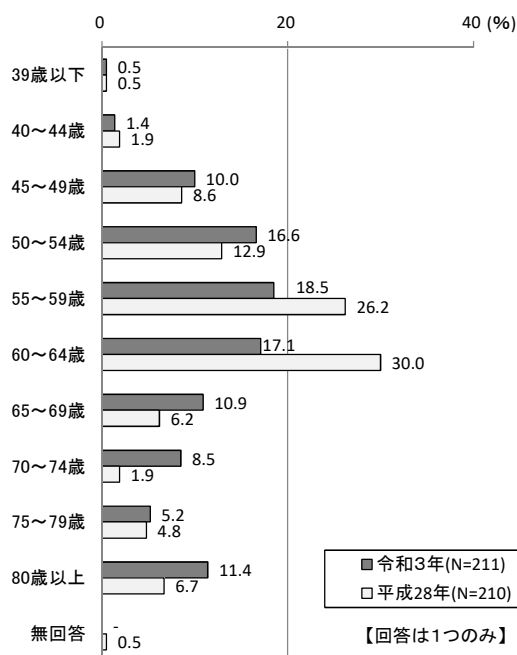


表3-2 年齢

		標本数	3 9 歳 以 下	4 0 ～ 4 4 歳	4 5 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 4 歳	5 5 ～ 5 9 歳	6 0 ～ 6 4 歳	6 5 ～ 6 9 歳	7 0 ～ 7 4 歳	7 5 ～ 7 9 歳	8 0 歳 以 上	無 回 答
全体		211 100.0	1 0.5	3 1.4	21 10.0	35 16.6	39 18.5	36 17.1	23 10.9	18 8.5	11 5.2	24 11.4	-
時 系 列	平成28年	210	0.5	1.9	8.6	12.9	26.2	30.0	6.2	1.9	4.8	6.7	0.5
	平成23年	296	0.3	2.7	3.4	10.8	26.0	31.8	7.8	4.7	3.0	8.4	1.0
	平成18年	376	-	2.4	5.1	15.4	27.4	21.8	5.1	7.2	4.8	10.9	-
理 由 別	死別	67	1.5	-	1.5	6.0	10.4	16.4	16.4	11.9	10.4	25.4	-
	離婚	130	-	1.5	15.4	23.8	22.3	18.5	8.5	4.6	2.3	3.1	-
	その他の生別	7	-	14.3	-	-	28.6	-	-	28.6	-	28.6	-
	かつて母子家庭ではなかった	3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-
無回答	4	-	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	

(2) 同居の人数

問2 同居の家族（お子さん以外の方）について、下の□にそれぞれの現在の人数をご記入ください。

同居の人数（調査対象者本人と子どもの人数を除く）は「0人」が最も高くなっている。

図3-2 同居の人数

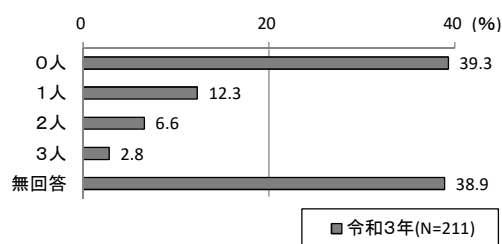


表3-3 同居の人数

		標本数	0人	1人	2人	3人	無回答
全体		211 100.0	83 39.3	26 12.3	14 6.6	6 2.8	82 38.9
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	100.0
	40歳代	24	54.2	8.3	25.0	4.2	8.3
	50歳代	74	43.2	20.3	9.5	4.1	23.0
	60～64歳	36	30.6	11.1	-	-	58.3
	65歳以上	76	35.5	6.6	1.3	2.6	53.9
無回答		-	-	-	-	-	-

(3) 同居家族

問3 同居の家族はどなたがおられますか。(〇印はいくつでも)

同居家族は、「子ども」が8割以上を占めている。子ども以外の同居の家族については、「母」が13.7%、「父」が4.7%、「兄弟姉妹」が2.4%となっている。
年齢別にみると、40歳代では「母」「父」との同居割合が高くなっている。

図3-3 同居家族 [複数回答]

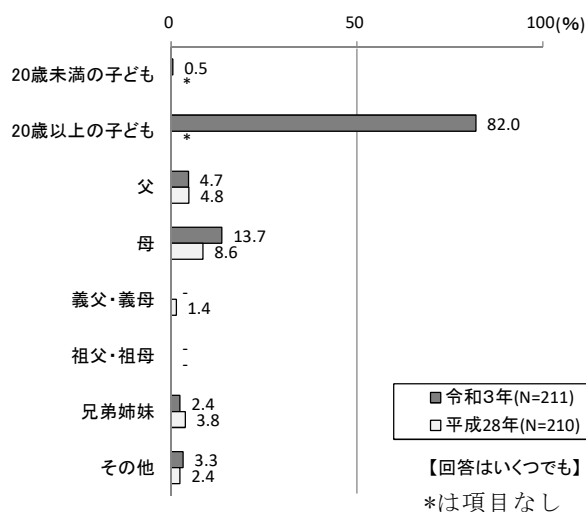


表3-4 同居家族 [複数回答]

		標本数	20歳未満の子ども	20歳以上の子ども	父	母	義父・義母	祖父・祖母	兄弟姉妹	その他	無回答
全体		211	1	173	10	29	-	-	5	7	24
		100.0	0.5	82.0	4.7	13.7	-	-	2.4	3.3	11.4
時系列	平成28年	210	54.3	-	4.8	8.6	1.4	-	3.8	2.4	38.1
	平成23年	296	53.4	-	2.0	7.1	0.3	-	1.4	4.1	38.9
	平成18年	376	56.1	-	2.7	7.2	-	-	2.7	1.3	38.0
年齢別	39歳以下	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	4.2	87.5	20.8	25.0	-	-	8.3	4.2	4.2
	50歳代	74	-	82.4	6.8	23.0	-	-	2.7	1.4	9.5
	60~64歳	36	-	75.0	-	11.1	-	-	-	2.8	19.4
	65歳以上	76	-	82.9	-	2.6	-	-	1.3	5.3	11.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理由別	死別	67	-	79.1	-	6.0	-	-	1.5	4.5	17.9
	離婚	130	0.8	84.6	7.7	19.2	-	-	3.1	2.3	6.9
	その他の生別	7	-	71.4	-	-	-	-	-	14.3	14.3
	かつて母子家庭ではなかった	3	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0

(4) 扶養関係

問4 あなたの扶養関係は次の中のどれにあてはまりますか。(○印は1つ)

扶養関係では「扶養関係なし」が60.2%で最も割合が高く、次いで「他の世帯員を扶養している」が23.2%、「他の世帯員に扶養されている」が7.1%となっている。

前回調査と比較すると、「他の世帯員を扶養している」の割合が増加し、「扶養関係なし」が減少している。

年齢別にみると、40歳代、50歳代では、「他の世帯員を扶養している」割合が他に比べ高くなっている。

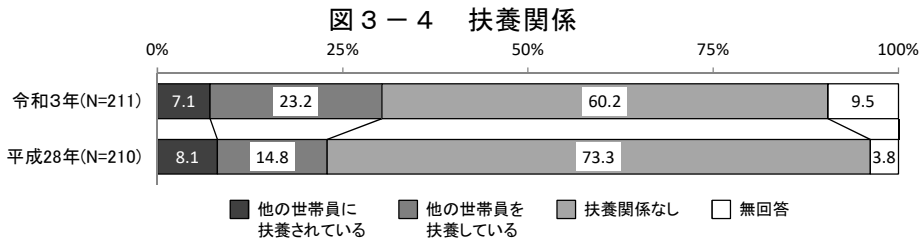


表3-5 扶養関係

		標本数	他の世帯員に扶養されている	他の世帯員を扶養している	扶養関係なし	無回答
全体		211	7.1	23.2	60.2	9.5
時系列	平成28年	210	8.1	14.8	73.3	3.8
	平成23年	296	7.8	10.8	73.3	8.1
	平成18年	376	11.2	12.2	68.9	7.7
年齢別	39歳以下	1	-	-	100.0	-
	40歳代	24	4.2	29.2	58.3	8.3
	50歳代	74	4.1	35.1	58.1	2.7
	60～64歳	36	11.1	19.4	58.3	11.1
	65歳以上	76	9.2	11.8	63.2	15.8
無回答		-	-	-	-	-

(5) かつて母子家庭となった理由

問5 かつて母子家庭になったのはどのような理由からですか。(〇印は1つ)

かつて母子家庭になった理由は「離婚」が61.6%で最も割合が高く、『死別』（「病死」「交通事故死」「その他の死別」の合計）は31.8%、「かつて母子家庭ではなかった」は1.4%であった。

前回調査に比べ、「離婚」が増加している。

年齢別にみると、40～64歳では「離婚」の割合が高く、65歳以上では「病死」の割合が高くなっている。

図3-5 かつて母子家庭となった理由

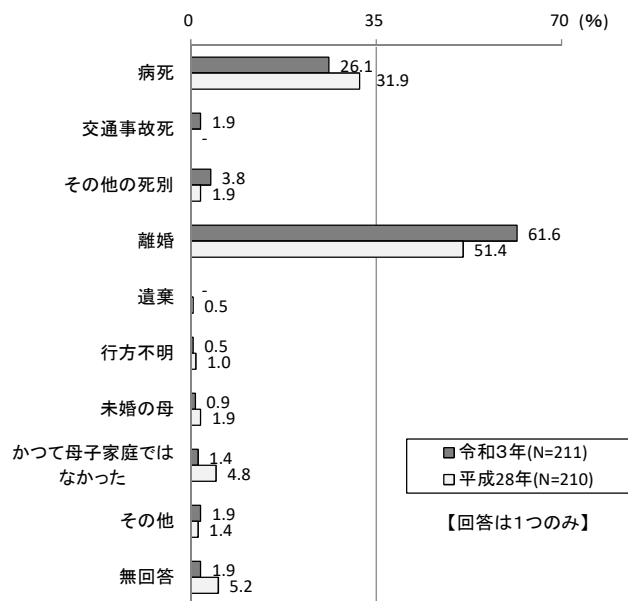


表3-6 かつて母子家庭となった理由

		標本数	病死	交通事故死	その他の死別	離婚	遺棄	行方不明	未婚の母	なかつた母子家庭では	その他	無回答
全体		211	55	4	8	130	-	1	2	3	4	4
		100.0	26.1	1.9	3.8	61.6	-	0.5	0.9	1.4	1.9	1.9
時系列	平成28年	210	31.9	-	1.9	51.4	0.5	1.0	1.9	4.8	1.4	5.2
	平成23年	296	35.8	0.3	2.7	48.6	0.7	0.7	1.4	4.7	1.4	3.7
	平成18年	376	40.7	0.8	2.7	41.5	-	0.3	0.8	11.2	1.1	1.1
年齢別	39歳以下	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	-	4.2	-	91.7	-	-	4.2	-	-	-
	50歳代	74	13.5	-	1.4	81.1	-	-	1.4	-	1.4	1.4
	60～64歳	36	30.6	-	-	66.7	-	-	-	-	-	2.8
	65歳以上	76	44.7	2.6	9.2	31.6	-	1.3	-	3.9	3.9	2.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 仕事の状況

(1) 仕事の有無

問6 現在あなたは仕事を持っていますか。(〇印は1つ)

現在、仕事を「持っている」人は65.9%、「持っていない」人は33.6%となっている。前回調査と比較すると、「持っている」割合が減少している。年齢別にみると、50歳代以下では9割以上が仕事を「持っている」が、65歳以上では3割弱となっている。寡婦になった理由別にみると、離婚の方が死別よりも仕事を「持っている」割合が高くなっている。

図3-6 仕事の有無

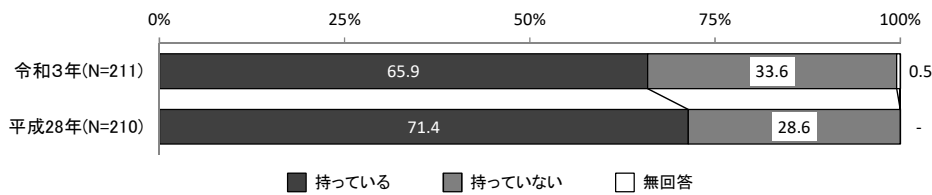


表3-7 仕事の有無

		標本数	持っている (%)	持っていない (%)	無回答 (%)
全体		211	65.9	33.6	0.5
時系列	平成28年	210	71.4	28.6	-
	平成23年	296	61.8	37.2	1.0
	平成18年	376	52.9	47.1	-
年齢別	39歳以下	1	100.0	-	-
	40歳代	24	95.8	4.2	-
	50歳代	74	93.2	6.8	-
	60～64歳	36	69.4	30.6	-
	65歳以上	76	27.6	71.1	1.3
	無回答	-	-	-	-
理由別	死別	67	41.8	56.7	1.5
	離婚	130	80.8	19.2	-
	その他の生別	7	57.1	42.9	-
	かつて母子家庭ではなかった	3	-	100.0	-
	無回答	4	50.0	50.0	-

(2) 就業形態

問 6-1 あなたの仕事は、次の中のどれにあてはまりますか。(○印は1つ)

仕事を持っている人の就業形態は、「正社員・正職員」が48.2%で最も割合が高く、次いで「パートタイマー」が25.9%、「派遣・契約社員」が11.5%となっている。

前回調査と比較すると、「正社員・正職員」が増加し、「パートタイマー」が減少している。年齢別にみると、40～64歳以下の年齢層では「正社員・正職員」の割合が高くなっている。

図 3-7 就業形態

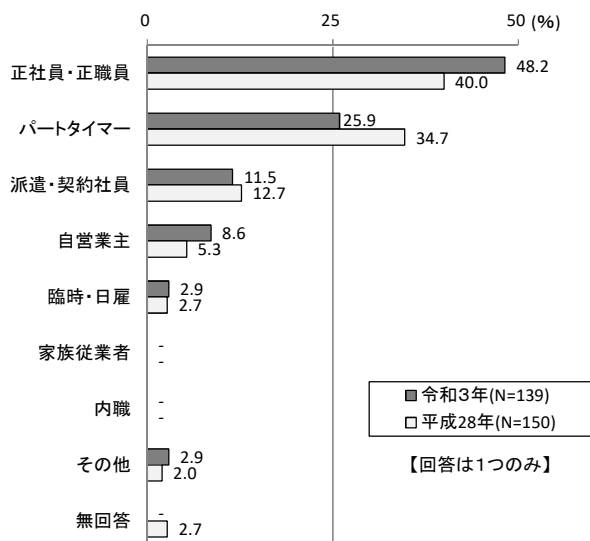


表 3-8 就業形態

		標本数	自営業主	家族従業者	正社員・正職員	派遣・契約社員	パートタイマー	臨時・日雇	内職	その他	無回答
全体		139	12	-	67	16	36	4	-	4	-
		100.0	8.6	-	48.2	11.5	25.9	2.9	-	2.9	-
時系列	平成28年	150	5.3	-	40.0	12.7	34.7	2.7	-	2.0	2.7
	平成23年	183	12.6	1.1	42.6	9.8	26.2	3.8	2.7	-	1.1
	平成18年	199	12.1	2.5	31.2	12.1	35.2	5.0	-	1.5	0.5
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	40歳代	23	13.0	-	65.2	4.3	17.4	-	-	-	-
	50歳代	69	4.3	-	58.0	13.0	20.3	4.3	-	-	-
	60～64歳	25	12.0	-	32.0	24.0	20.0	-	-	12.0	-
	65歳以上	21	14.3	-	19.0	-	57.1	4.8	-	4.8	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 仕事の内容（職種）

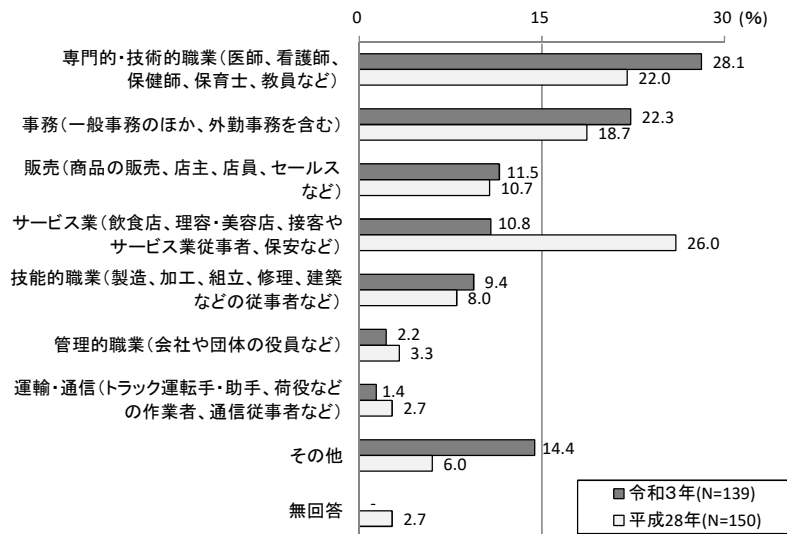
問 6-2 仕事の内容（職種）は、次の中のどれにあてはまりますか。（○印は1つ）

仕事の内容（職種）は、「専門的・技術的職業（医師、看護師、保健師、保育士、教員など）」が28.1%で最も割合が高く、次いで「事務（一般事務のほか、外勤事務を含む）」が22.3%、「販売（商品の販売、店主、店員、セールスなど）」が11.5%、「サービス業（飲食店、理容・美容店、接客やサービス業従事者、保安など）」が10.8%となっている。

前回調査と比較すると、「サービス業」が減少し、「専門的・技術的職業」「事務」が増加している。

年齢別にみると、「事務」の割合は40歳代が高く、「専門的・技術的職業」は50～64歳以下の割合が高くなっている。

図 3-8 仕事の内容（職種）



【回答は1つのみ】

表 3-9 仕事の内容（職種）

		標本数	保 育 士 、 専 門 的 、 教 員 な ど	専 門 的 、 技 術 的 職 業 （ 医 師 、 看 護 師 、 保 健 師 、 保 育 士 、 教 員 な ど ）	管 理 的 職 業 （ 会 社 や 団 体 の 役 員 な ど ）	外 勤 事 務 （ 一 般 事 務 の ほ か 、 外 勤 事 務 を 含 む ）	事 務 （ 一 般 事 務 の ほ か 、 外 勤 事 務 を 含 む ）	店 員 、 セ ール ス な ど	販 売 （ 商 品 の 販 売 、 店 主 、 店 員 、 セ ール ス な ど ）	運 送 手 、 通 信 従 事 者 な ど	運 送 手 、 通 信 従 事 者 な ど の （ ト ラ ック 運 送 手 、 ト ラ ック 運 送 手 の 助 手 、 ト ラ ック 運 送 手 の 助 手 な ど ）	修 理 、 建 築 な ど の 従 事 者 な ど	技 術 的 職 業 （ 製 造 、 加 工 、 組 立 、 修 理 、 建 築 な ど の 従 事 者 な ど ）	サ ー ビ ス 業 従 事 者 、 接 客 や 保 安 な ど	サ ー ビ ス 業 （ 飲 食 店 、 理 容 ・ 美 容 店 、 接 客 や 保 安 な ど ）	そ の 他	無 回 答	
全 体		139	39	3	31	16	2	13	15	20	-	-	-	-	-	-	-	-
時 系 列	平成28年	150	22.0	3.3	18.7	10.7	2.7	8.0	26.0	6.0	2.7	-	-	-	-	-	-	-
	平成23年	183	16.9	3.8	17.5	11.5	0.5	3.8	24.6	19.7	1.6	-	-	-	-	-	-	-
	平成18年	199	13.1	1.5	20.1	15.1	1.0	9.0	33.2	4.5	2.5	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年 齢 別	39歳以下	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	23	21.7	4.3	30.4	8.7	4.3	8.7	4.3	17.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	50歳代	69	29.0	1.4	23.2	8.7	1.4	10.1	15.9	10.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	25	36.0	4.0	24.0	16.0	-	12.0	4.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	65歳以上	21	19.0	-	9.5	19.0	-	4.8	9.5	38.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現 在 の 就 業 形 態 別	自営業主	12	25.0	-	-	8.3	-	-	25.0	41.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	32.8	4.5	32.8	4.5	1.5	9.0	7.5	7.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	派遣・契約社員	16	37.5	-	31.3	6.3	6.3	12.5	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	パートタイマー	36	13.9	-	2.8	27.8	-	13.9	19.4	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	臨時・日雇	4	25.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	内職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	4	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(4) 求職の方法

問 6-3 いまの仕事は、主にどのような方法で探しましたか。(〇印は1つ)

現在、仕事を持っている人の主な求職方法は、「友人・知人の紹介」が 25.9%で最も割合が高く、次いで「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」が 21.6%で続いている。また、「探す必要はなかった」は 9.4%である。

前回調査と比べると、「友人・知人の紹介」「新聞などの求人広告」「家族や親せきの紹介」が減少し、「インターネット」の割合が特に増加している。

現在の就業形態別では、正社員・正職員では「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」の割合が高く、派遣・契約社員、パートタイマーでは「友人・知人の紹介」の割合が高くなっている。

図 3-9 求職の方法

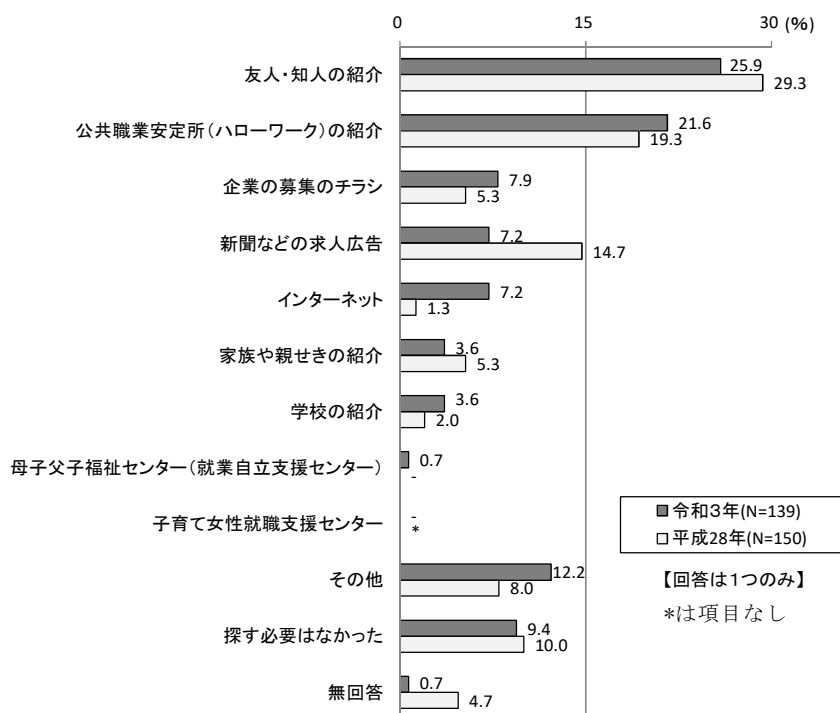


表3-10 求職の方法

		標本数	公共職業安定所（ハローワーク）の紹介	母子自立支援センター（就業自立支援センター）	子育て女性就職支援センター	友人・知人の紹介	家族や親せきの紹介	学校の紹介	新聞などの求人広告	企業の募集のチラシ	インターネット	その他	探す必要はなかった	無回答
全体		139 100.0	30 21.6	1 0.7	-	36 25.9	5 3.6	5 3.6	10 7.2	11 7.9	10 7.2	17 12.2	13 9.4	1 0.7
時系列	平成28年	150	19.3	-	...	29.3	5.3	2.0	14.7	5.3	1.3	8.0	10.0	4.7
	平成23年	183	20.2	0.5	...	25.1	3.3	2.7	14.2	10.4	-	6.0	15.8	1.6
	平成18年	199	13.1	0.5	...	29.1	7.0	0.5	17.6	6.5	-	5.0	13.6	7.0
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	23	17.4	-	-	26.1	-	8.7	8.7	-	13.0	13.0	13.0	-
	50歳代	69	29.0	-	-	21.7	4.3	4.3	5.8	13.0	7.2	13.0	1.4	-
	60～64歳	25	12.0	4.0	-	28.0	4.0	-	8.0	8.0	4.0	4.0	28.0	-
	65歳以上	21	14.3	-	-	33.3	4.8	-	9.5	-	4.8	19.0	9.5	4.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現在の就業形態別	自営業主	12	8.3	-	-	8.3	-	-	8.3	-	8.3	25.0	41.7	-
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	29.9	-	-	23.9	6.0	7.5	4.5	6.0	6.0	10.4	6.0	-
	派遣・契約社員	16	18.8	6.3	-	25.0	6.3	-	6.3	12.5	6.3	12.5	6.3	-
	パートタイマー	36	13.9	-	-	36.1	-	-	11.1	13.9	11.1	8.3	2.8	2.8
	臨時・日雇	4	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	50.0	-	-
	内職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	4	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 勤続年数

問 6-4 あなたは、いまの勤務先に勤めはじめて（自営業、農業などの方はいまの仕事をはじめて）何年くらいになりますか。（○印は1つ）

現在の勤務先の勤続年数では、「15～20年未満」「20～30年未満」がいずれも16.5%を占め、これに「5～10年未満」が15.1%、「10～15年未満」が12.9%で続いている。
現在の就業形態別では、自営業主、正社員・正職員で比較的長い年数での回答がみられる。

図 3-10 勤続年数

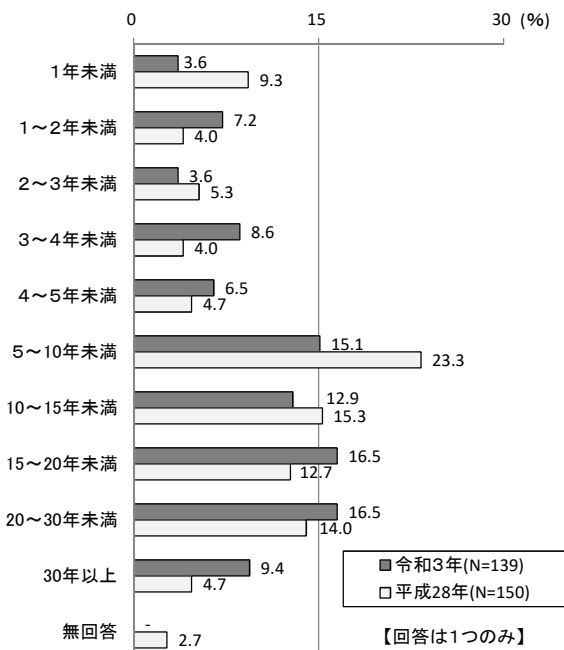


表 3-11 勤続年数

		標本数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
全体		139	5	10	5	12	9	21	18	23	23	13	-
		100.0	3.6	7.2	3.6	8.6	6.5	15.1	12.9	16.5	16.5	9.4	-
時系列	平成28年	150	9.3	4.0	5.3	4.0	4.7	23.3	15.3	12.7	14.0	4.7	2.7
	平成23年	183	6.6	3.8	4.9	2.2	6.6	19.7	16.9	8.7	19.7	10.4	0.5
	平成18年	199	11.1	7.0	6.0	6.5	4.5	18.1	12.6	11.1	10.6	11.6	1.0
現在の就業形態別	自営業主	12	-	8.3	8.3	-	8.3	-	8.3	25.0	16.7	25.0	-
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	3.0	6.0	3.0	6.0	1.5	10.4	19.4	19.4	20.9	10.4	-
	派遣・契約社員	16	6.3	12.5	-	-	18.8	18.8	6.3	25.0	6.3	6.3	-
	パートタイマー	36	5.6	8.3	5.6	19.4	11.1	25.0	8.3	5.6	8.3	2.8	-
	臨時・日雇	4	-	-	-	25.0	-	50.0	-	25.0	-	-	-
	内職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	25.0	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(6) 仕事による収入

問6-5 あなたの仕事による収入は、平均すると1ヶ月に手取りでどのくらいになりますか。
賞与(ボーナス)など臨時的に支給されるものは除きます。(〇印は1つ)

仕事による1ヶ月の収入(手取り額)は、「15～20万円未満」が25.2%で最も高く、次いで「20～25万円未満」が21.6%、「10～15万円未満」が19.4%となっている。また、1ヶ月あたりの平均収入は17.6万円となっており、前回調査より2.6万円増加している。

年齢別にみると、64歳以下では15～25万円未満の割合が高く、65歳以上では「5～10万円未満」の割合が高くなっている。

現在の就業形態別でみると、パートタイマーでは『15万円未満』で9割近くを占め、平均収入は9.9万円だが、正社員・正職員の平均収入は22.1万円と大きな差がある。

図3-11 仕事による収入

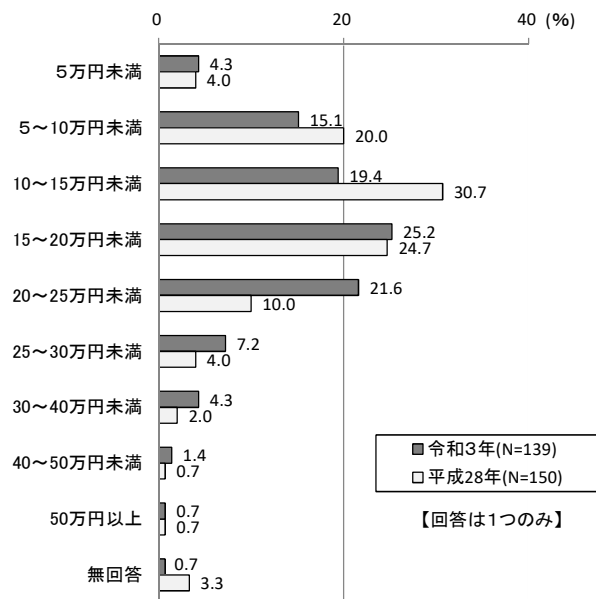


表3-12 仕事による収入

	標本数	(%)											平均(万円)
		5万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50万円以上	無回答		
全体	139	6.4	21.1	27.3	35.2	30.0	21.6	7.2	4.3	1.4	0.7	0.7	17.6
時系列	平成28年	150	4.0	20.0	30.7	24.7	10.0	4.0	2.0	0.7	0.7	3.3	15.0
	平成23年	183	4.9	26.2	29.5	24.0	6.6	1.6	1.6	1.1	3.3	1.1	15.1
	平成18年	199	11.6	25.1	28.6	14.6	9.0	5.0	2.5	0.5	1.5	1.5	13.9
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	17.5
	40歳代	23	4.3	8.7	17.4	30.4	30.4	8.7	-	-	-	-	17.5
	50歳代	69	1.4	7.2	23.2	24.6	21.7	11.6	7.2	1.4	-	1.4	19.3
	60～64歳	25	4.0	12.0	16.0	32.0	32.0	-	-	-	4.0	-	18.2
	65歳以上	21	14.3	52.4	14.3	9.5	-	-	4.8	4.8	-	-	11.6
現在の就業形態別	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業主	12	8.3	33.3	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	-	-	-	19.0
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	-	3.0	7.5	31.3	35.8	13.4	6.0	1.5	1.5	-	22.1
	派遣・契約社員	16	-	-	37.5	50.0	6.3	-	-	-	-	6.3	15.8
	パートタイマー	36	11.1	41.7	36.1	11.1	-	-	-	-	-	-	9.9
	臨時・日雇	4	25.0	-	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	12.5
内職	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	4	-	-	-	25.0	75.0	-	-	-	-	-	21.3	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※平均は「5万円未満」は2.5万円、「5～10万円未満」は7.5万円などそれぞれ中間値をとり、「50万円以上」は60万円とし、無回答を除いた標本数で算出した。

(7) 仕事上の不安や不満、悩み

問 6-6 あなたは、いまの仕事続ける上で、不安や不満、悩みなどがありますか。

(○印は3つまで)

今の仕事続ける上での不安や不満、悩みでは、「収入が少ない」が38.8%で最も割合が高く、次いで「休みがとりにくい」「仕事がつい」がいずれも17.3%、「税金が高い」が15.8%、「職場の人間関係」が13.7%、「昇給・昇進が遅い」が10.8%、「雇用や身分が不安定」が10.1%で続いている。

前回調査と比較すると、「収入が少ない」で3.2ポイント、「休みがとりにくい」で4.7ポイント減少し、「昇給・昇進が遅い」で4.8ポイント増加している。

年齢別にみると、いずれも「収入が少ない」での回答が多いが、40歳代では「休みがとりにくい」「税金が高い」などの高い割合を占めている。

現在の就業形態別でみると、派遣・契約社員、臨時・日雇では「雇用や身分が不安定」(37.5%)の割合が他に比べ高くなっている。

図3-12 仕事上の不安や悩み [複数回答]

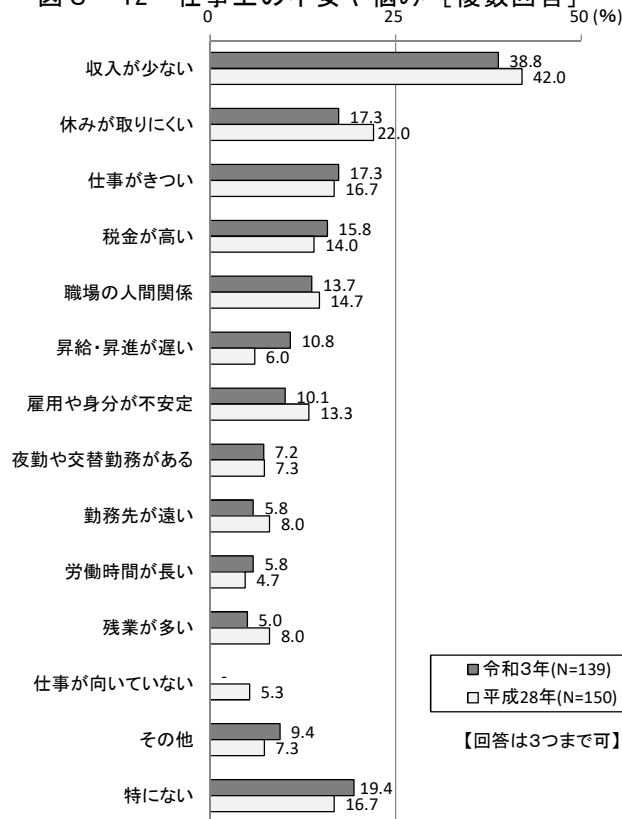


表 3-13 仕事上の不安や悩み [複数回答]

(%)

		標本数	勤務先が遠い	労働時間が長い	夜勤や交替勤務がある	残業が多い	休みが取りにくい	収入が少ない	税金が高い	雇用や身分が不安定	昇給・昇進が遅い	仕事に向いていない	仕事がついつい	職場の人間関係	その他	特にない	無回答
全体		139 100.0	8 5.8	8 5.8	10 7.2	7 5.0	24 17.3	54 38.8	22 15.8	14 10.1	15 10.8	-	24 17.3	19 13.7	13 9.4	27 19.4	3 2.2
時系列	平成28年	150	8.0	4.7	7.3	8.0	22.0	42.0	14.0	13.3	6.0	5.3	16.7	14.7	7.3	16.7	4.0
	平成23年	183	8.2	6.6	4.9	2.7	21.3	42.6	16.4	13.1	10.4	1.1	14.8	9.3	13.7	21.3	1.1
	平成18年	199	7.0	5.5	2.5	3.0	19.6	44.7	17.6	13.6	12.6	2.5	13.1	15.1	7.0	22.6	2.5
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	40歳代	23	4.3	8.7	8.7	8.7	30.4	34.8	21.7	4.3	8.7	-	17.4	4.3	4.3	17.4	-
	50歳代	69	8.7	8.7	8.7	7.2	11.6	47.8	18.8	13.0	14.5	-	18.8	14.5	13.0	8.7	1.4
	60～64歳	25	4.0	-	4.0	-	20.0	32.0	8.0	8.0	12.0	-	16.0	16.0	8.0	36.0	-
	65歳以上	21	-	-	4.8	-	19.0	23.8	9.5	9.5	-	-	14.3	14.3	4.8	38.1	9.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現在の就業形態別	自営業主	12	-	8.3	-	-	16.7	25.0	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	33.3	8.3
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	4.5	9.0	11.9	10.4	20.9	29.9	20.9	1.5	17.9	-	23.9	14.9	6.0	19.4	-
	派遣・契約社員	16	12.5	-	6.3	-	12.5	56.3	18.8	37.5	12.5	-	12.5	31.3	18.8	6.3	-
	パートタイマー	36	8.3	-	-	-	16.7	52.8	8.3	5.6	2.8	-	13.9	8.3	8.3	13.9	5.6
	臨時・日雇	4	-	25.0	-	-	-	75.0	-	50.0	-	-	25.0	-	25.0	25.0	-
	内職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	4	-	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	75.0	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(8) 現在の仕事の継続意向

問 6-7 あなたは、いまの仕事を今後も続けたいと思いますか。(〇印は1つ)

現在の仕事の継続意向をみると、「いまの仕事を続けたい」が 75.5%を占めており、7割以上が今後も今の仕事を続けたいと考えている。「他の仕事に変わりたい」は 15.1%、「仕事をやめたい」は 8.6%となっており、転職したい人が2割強を占めている。

前回調査結果との比較では、「いまの仕事を続けたい」が 9.5ポイント増加しており、「他の仕事に変わりたい」が 4.9ポイント減少している。

年齢別にみると、40歳代、50歳代で、「他の仕事に変わりたい」の割合が他に比べ高くなっている。

現在の就業形態別にみると、正社員・正職員でも2割程度が「他の仕事に変わりたい」と回答している。

図 3-13 現在の仕事の継続意向

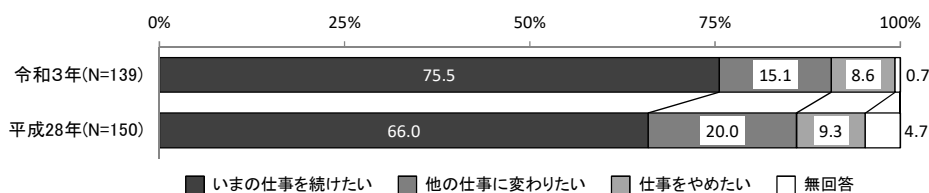


表 3-14 現在の仕事の継続意向

		標本数	いまの仕事を続けたい	他の仕事に変わりたい	仕事をやめたい	無回答
全体		139	75.5	15.1	8.6	0.7
時系列	平成28年	150	66.0	20.0	9.3	4.7
	平成23年	183	76.0	13.1	9.3	1.6
	平成18年	199	70.4	15.1	11.6	3.0
	39歳以下	1	100.0	-	-	-
年齢別	40歳代	23	65.2	26.1	4.3	4.3
	50歳代	69	76.8	17.4	5.8	-
	60～64歳	25	80.0	8.0	12.0	-
	65歳以上	21	76.2	4.8	19.0	-
	無回答	-	-	-	-	-
現在の就業形態別	自営業主	12	75.0	8.3	16.7	-
	家族従業者	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	74.6	20.9	3.0	1.5
	派遣・契約社員	16	81.3	6.3	12.5	-
	パートタイマー	36	75.0	11.1	13.9	-
	臨時・日雇	4	100.0	-	-	-
	内職	-	-	-	-	-
	その他	4	50.0	25.0	25.0	-
無回答	-	-	-	-	-	

問 6-7-1 【他の仕事に変わりたいと答えた方に】理由のうちあてはまるものを選んでください。(〇印は1つ)

転職したい理由をみると、「収入が少ない」が42.9%で、最も高い割合を占める。

図 3-14 転職したい理由

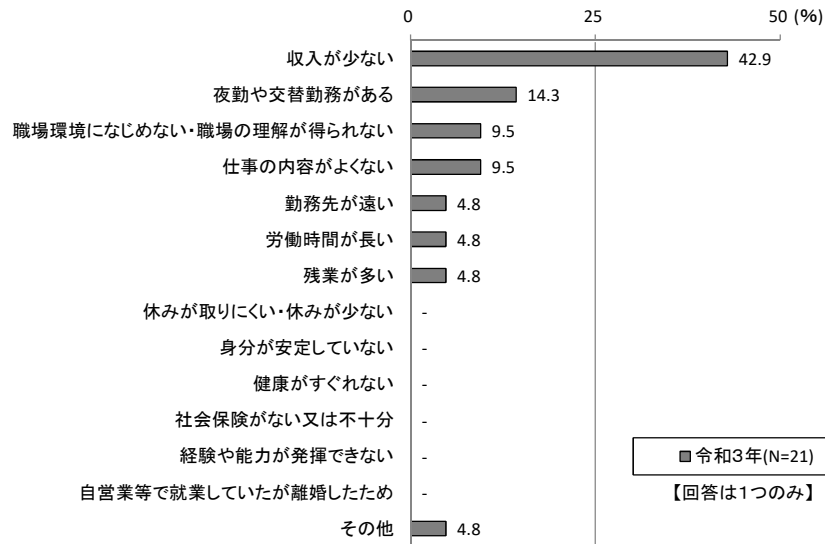


表 3-15 転職したい理由

		標本数	勤務先が遠い	労働時間が長い	夜勤や交替勤務がある	残業が多い	休みが取りにくい・休みが少ない	収入が少ない	身分が安定していない	職場環境になじめない・職場の理解が得られない	健康がすぐれない	仕事の内容がよくない	社会保険がない又は不十分	経験や能力が発揮できない	自営業等で就業していたが離婚したため	その他	無回答
全体		21 100.0	1 4.8	1 4.8	3 14.3	1 4.8	-	9 42.9	-	2 9.5	-	2 9.5	-	-	-	1 4.8	1 4.8
現在の就業形態別	自営業主	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	14	7.1	7.1	14.3	7.1	-	21.4	-	14.3	-	14.3	-	-	-	7.1	7.1
	派遣・契約社員	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	パートタイマー	4	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	臨時・日雇	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	内職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(9) 就業していない理由

問 6-8 あなたが、いま仕事を持っていないのはどのような理由ですか。(○印は 1 つ)

現在、仕事を持っていない理由は、「働かなくても経済的に困らない」が 25.4%を占め、これに「自分が病気・病弱のため」が 16.9%となっている。

前回調査と比較すると、「自分が病気・病弱のため」が大幅に減少している。

年齢別にみると、50 歳代、60～64 歳代で「自分が病気・病弱のため」の割合が高くなっている。

図 3-15 就業していない理由

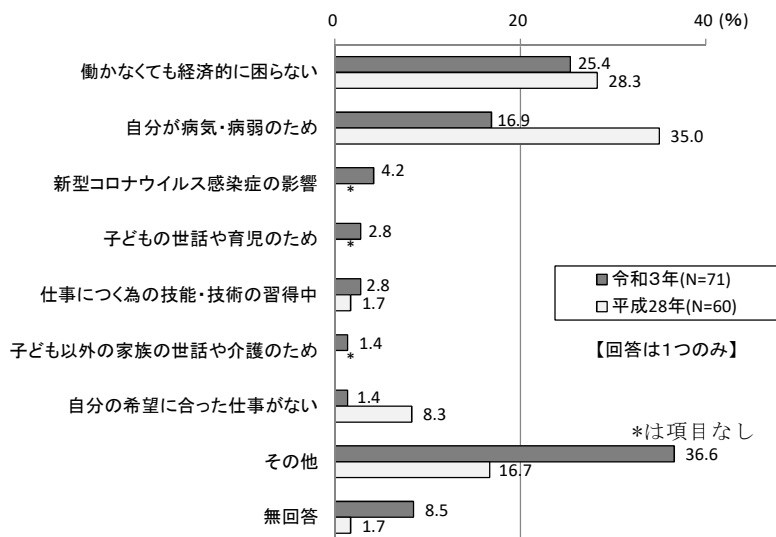


表 3-16 就業していない理由

		標本数	働かなくても経済的に困らない	自分が病気・病弱のため	子どもの世話や育児のため	子ども以外の家族の世話や介護のため	仕事につく為の技能・技術の習得中	自分の希望に合った仕事がない	新型コロナウイルス感染症の影響	仕事につく為の技能・技術の習得中	その他	無回答
全体		71	18	12	2	1	1	3	2	26	6	
時系列	平成28年	60	25.4	16.9	2.8	1.4	1.4	4.2	2.8	16.7	1.7	
	平成23年	110	19.1	24.5	10.9	7.3	...	1.8	27.3	9.1		
	平成18年	177	20.9	20.3	5.1	15.8	...	-	29.4	8.5		
年齢別	39歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40歳代	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	50歳代	5	-	60.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	
	60～64歳	11	18.2	36.4	9.1	-	9.1	-	9.1	18.2	-	
	65歳以上	54	29.6	9.3	1.9	1.9	-	3.7	-	42.6	11.1	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
理由別	死別	38	28.9	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	-	47.4	10.5	
	離婚	25	20.0	36.0	4.0	-	-	4.0	4.0	24.0	8.0	
	その他の生別	3	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-	-	
	かつて母子家庭ではなかった	3	-	66.7	-	-	-	-	-	33.3	-	
	無回答	2	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	

※「子どもの世話や育児のため」「子ども以外の家族の世話や介護のため」
…平成 28 年以前は、「家族の世話や介護のため」の数値。

(10) 今後の就業意向

問 6-9 あなたは今後、仕事を持ちたいと思いますか。(○印は1つ)

現在、仕事を持っていない人の今後の就業意向としては、「仕事を持つつもりはない」が47.9%で最も割合が高く、次いで「いまのところ分からない」が25.4%、「いま仕事を探している」が8.5%、「そのうち仕事を持ちたい」が5.6%となっている。

前回調査と比較すると、「仕事を持つつもりはない」が3.8ポイント減少している。

年齢別にみると、60～64歳では「いまのところ分からない」が54.5%、65歳以上では「仕事を持つつもりはない」が59.3%で最も高い割合を占める。

図 3-16 今後の就業意向

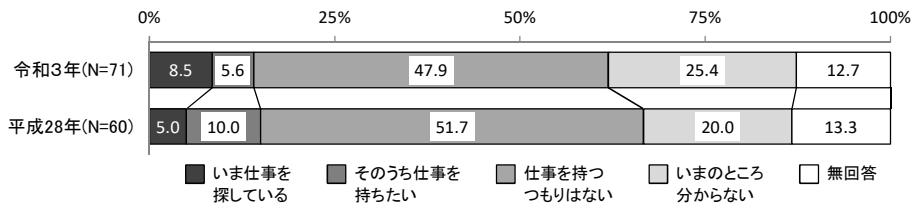


表 3-17 今後の就業意向

		標本数	いま仕事を探している	そのうち仕事を持ちたい	仕事を持つつもりはない	いまのところ分からない	無回答
全体		71	6	4	34	18	9
		100.0	8.5	5.6	47.9	25.4	12.7
時系列	平成28年	60	5.0	10.0	51.7	20.0	13.3
	平成23年	110	5.5	11.8	41.8	30.0	10.9
	平成18年	177	10.2	8.5	45.2	21.5	14.7
年齢別	39歳以下	-	-	-	-	-	-
	40歳代	1	100.0	-	-	-	-
	50歳代	5	40.0	20.0	-	40.0	-
	60～64歳	11	18.2	9.1	18.2	54.5	-
	65歳以上	54	1.9	3.7	59.3	18.5	16.7
無回答		-	-	-	-	-	-

問 6-9-1 【仕事を探している、仕事を持ちたいと答えた方に】では、どんな仕事を持ちたい
 と思いますか。(〇印は1つ)

就業意向のある人が希望する仕事としては、「パートとして勤めたい」が50.0%、「正社員・正職員として勤めたい」が20.0%となっている。

年齢別にみると40歳代では「正社員、正職員として勤めたい」、60歳以上では「パートとして勤めたい」の割合が高くなっている。

図 3-17 希望する就業形態

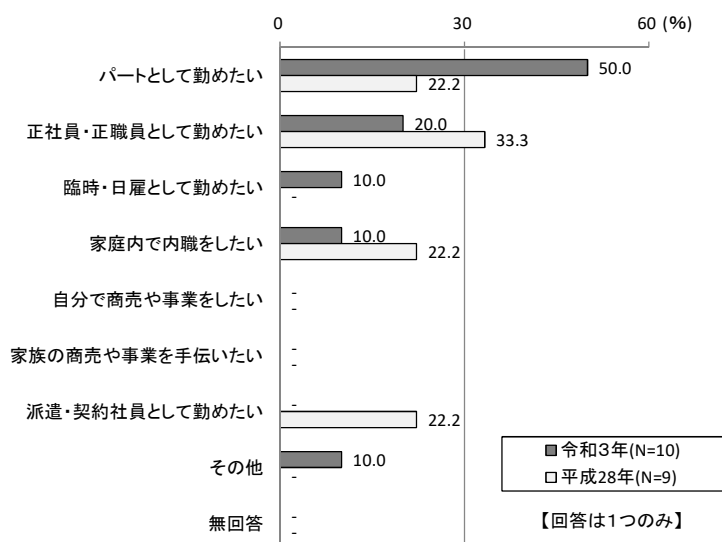


表 3-18 希望する就業形態

		標本数	を自分で商売や事業をした	家族の手伝い	正社員・正職員として勤めたい	派遣・契約社員として勤めたい	パートとして勤めたい	臨時・日雇として勤めたい	家庭内で内職をしたい	その他	無回答
全体		10	-	-	2	-	5	1	1	1	-
		100.0	-	-	20.0	-	50.0	10.0	10.0	10.0	-
時系列	平成28年	9	-	-	33.3	22.2	22.2	-	22.2	-	-
	平成23年	19	10.5	-	21.1	-	42.1	-	15.8	-	10.5
	平成18年	33	-	-	18.2	6.1	60.6	6.1	3.0	-	6.1
年齢別	39歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	50歳代	3	-	-	33.3	-	66.7	-	-	-	-
	60～64歳	3	-	-	-	-	66.7	-	-	33.3	-
	65歳以上	3	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

問 6-9-2 【仕事を探している、仕事を持ちたいと答えた方に】主にどのような方法で仕事を探しますか。(〇印は1つ)

就業意向がある人の求職方法では、「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」が 40.0% で最も割合が高く、次いで「インターネット」が 20.0% となっている。

図 3-18 求職の方法

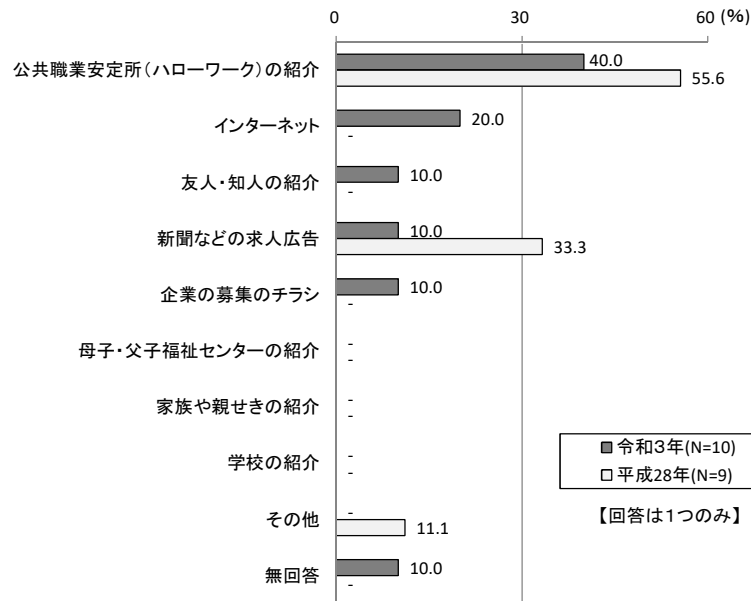


表 3-19 求職の方法

		標本数	公共職業安定所(ハローワーク)の紹介	母子・父子福祉センターの紹介	友人・知人の紹介	家族や親せきの紹介	学校の紹介	新聞などの求人広告	企業の募集のチラシ	インターネット	その他	無回答
全体		10	4	-	1	-	-	1	1	2	-	1
		100.0	40.0	-	10.0	-	-	10.0	10.0	20.0	-	10.0
時系列	平成28年	9	55.6	-	-	-	-	33.3	-	-	11.1	-
	平成23年	19	42.1	5.3	21.1	-	-	10.5	5.3	-	5.3	10.5
	平成18年	33	39.4	-	9.1	-	-	33.3	15.2	-	-	3.0

(11) 現在持っている資格や技術

問7 あなたはいま、どのような資格や技術をもっていますか。その中で、現在の仕事に役立っているものはありますか。また、今後新たに取得したい資格や技術はありますか。
(○印はそれぞれ3つまで)

現在持っている資格や技術は、「自動車運転免許」が62.6%で最も割合が高く、次いで「原付バイクの運転免許」が17.5%、「簿記」が15.6%、「珠算・速記など」が11.8%、「ホームヘルパー・介護福祉士」が11.4%となっている。

前回調査と比べ、特に大きな差はみられない。

年齢別にみると、50歳代では「ホームヘルパー・介護福祉士」(20.3%)、60～64歳未満では「保育士・教員など」「簿記」(19.4%)などの割合が高くなっている。

図3-19 現在持っている資格や技術 [複数回答]

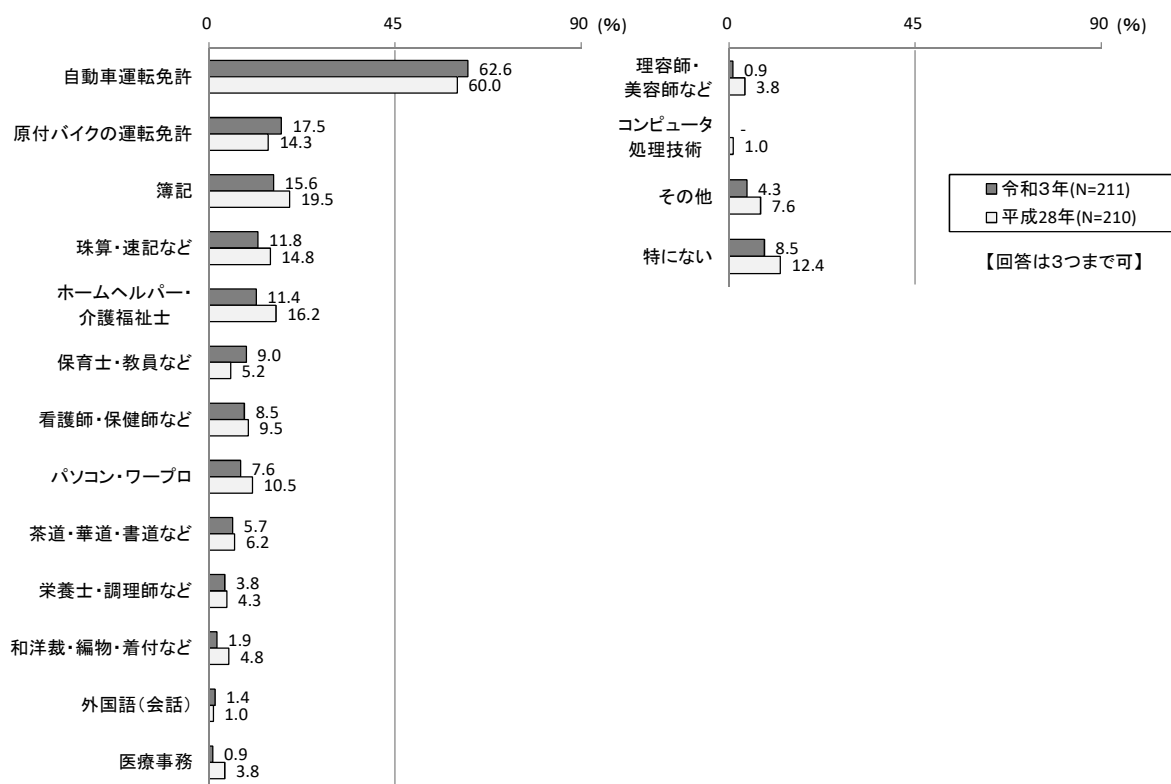


表3-20 現在持っている資格や技術 [複数回答]

		標本数	自動車運転免許	原付バイクの運転免許	栄養士・調理師など	保育士・教員など	看護師・保健師など	医療事務	理容師・美容師など	和洋裁・編物・着付など	茶道・華道・書道など	(%)
全体		211 100.0	132 62.6	37 17.5	8 3.8	19 9.0	18 8.5	2 0.9	2 0.9	4 1.9	12 5.7	
時系列	平成28年	210	60.0	14.3	4.3	5.2	9.5	3.8	3.8	4.8	6.2	
	平成23年	296	52.0	14.9	2.0	3.0	6.8	3.7	2.7	4.4	5.1	
	平成18年	376	42.0	6.9	3.2	3.5	4.5	2.9	1.6	5.1	6.6	
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	40歳代	24	83.3	20.8	8.3	4.2	8.3	-	4.2	-	4.2	-
	50歳代	74	83.8	31.1	2.7	8.1	6.8	1.4	-	4.1	9.5	-
	60～64歳	36	72.2	13.9	-	19.4	11.1	-	-	-	-	-
	65歳以上	76	31.6	5.3	5.3	6.6	7.9	1.3	1.3	1.3	5.3	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		標本数	簿記	珠算・速記など	パソコン・ワープロ	コンピュータ処理技術	外国語(会話)	介護福祉士・ホームヘルパー	その他	特にない	無回答
全体		211 100.0	33 15.6	25 11.8	16 7.6	-	3 1.4	24 11.4	9 4.3	18 8.5	32 15.2
時系列	平成28年	210	19.5	14.8	10.5	1.0	1.0	16.2	7.6	12.4	11.0
	平成23年	296	15.9	10.8	4.1	-	0.7	11.1	4.4	15.2	16.2
	平成18年	376	14.1	9.8	6.6	0.8	0.3	7.7	2.4	16.5	24.7
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	20.8	8.3	12.5	-	4.2	4.2	8.3	4.2	4.2
	50歳代	74	18.9	12.2	8.1	-	1.4	20.3	6.8	4.1	4.1
	60～64歳	36	19.4	16.7	11.1	-	2.8	13.9	2.8	-	13.9
	65歳以上	76	9.2	10.5	3.9	-	-	3.9	1.3	18.4	30.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(12) 現在役に立っている資格や技術

持っている資格や技術のうち、現在の仕事に役立っているものは、「自動車運転免許」が28.4%で最も割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「自動車運転免許」で4.0ポイント、「パソコン・ワープロ」で5.8ポイント減少し、「和洋裁・編物・着付など」で7.1ポイント増加している。

年齢別にみると、60～64歳で「保育士・教員など」(13.9%)の割合が他に比べて高くなっている。

就業形態別にみると、正社員・正職員では「パソコン・ワープロ」(16.4%)、「簿記」「ホームヘルパー・介護福祉士」(いずれも14.9%)、派遣・契約社員、臨時・日雇では「パソコン・ワープロ」「看護師・保健師など」の割合が高くなっている。

図3-20 現在役に立っている資格や技術 [複数回答]

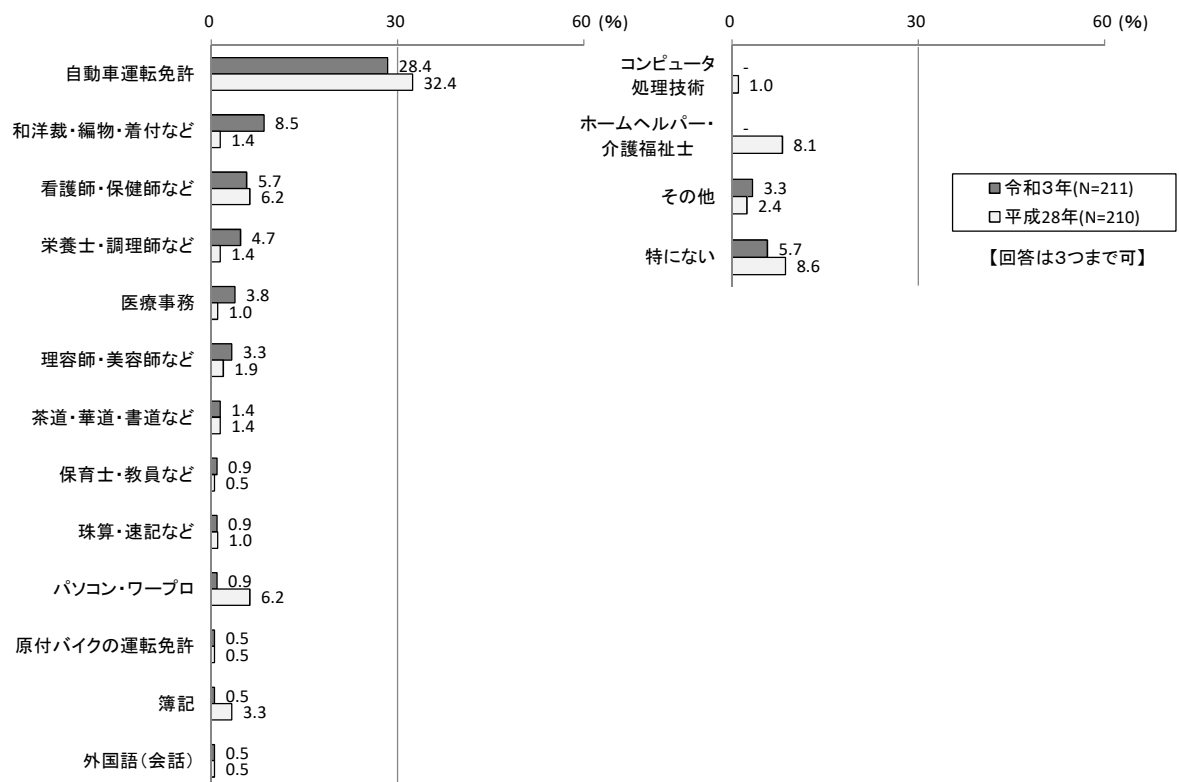


表3-21 現在役に立っている資格や技術 [複数回答]

		標本数	自動車運転免許	原付バイクの運転免許	栄養士・調理師など	保育士・教員など	看護師・保健師など	医療事務	理容師・美容師など	和洋裁・編物・着付など	茶道・華道・書道など
全体		211 100.0	60 28.4	1 0.5	1 0.5	8 3.8	7 3.3	-	1 0.5	2 0.9	3 1.4
時系列	平成28年	210	32.4	0.5	1.4	0.5	6.2	1.0	1.9	1.4	1.4
	平成23年	296	24.7	0.7	0.3	0.3	3.7	0.7	1.0	2.0	1.0
	平成18年	376	19.9	1.3	1.3	1.1	2.9	0.3	1.1	1.6	1.3
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	37.5	-	-	-	4.2	-	-	-	4.2
	50歳代	74	40.5	1.4	1.4	4.1	4.1	-	1.4	2.7	2.7
	60～64歳	36	38.9	-	-	13.9	5.6	-	-	-	-
	65歳以上	76	9.2	-	-	-	1.3	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
現在の就業形態別	自営業主	12	41.7	8.3	-	8.3	-	-	-	-	8.3
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	41.8	-	-	3.0	6.0	-	-	1.5	3.0
	派遣・契約社員	16	50.0	-	-	18.8	-	-	-	-	-
	パートタイマー	36	25.0	-	2.8	-	5.6	-	-	-	-
	臨時・日雇	4	75.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-
	内職 その他 無回答	4 4 -	50.0 - -	- - -	- - -	- - -	25.0 - -	- - -	- - -	- - -	- - -

(%)

		標本数	簿記	珠算・速記など	パソコン・ワープロ	コンピュータ処理技術	外国語(会話)	ホームヘルパー・介護福祉士	その他	特にない	無回答
全体		211 100.0	10 4.7	2 0.9	18 8.5	-	2 0.9	12 5.7	7 3.3	12 5.7	121 57.3
時系列	平成28年	210	3.3	1.0	6.2	1.0	0.5	8.1	2.4	8.6	50.5
	平成23年	296	3.4	3.0	2.4	-	0.3	6.1	4.1	9.5	56.4
	平成18年	376	4.0	1.6	4.0	0.8	-	4.3	1.1	18.6	53.7
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	40歳代	24	4.2	-	12.5	-	-	-	-	4.2	45.8
	50歳代	74	10.8	2.7	13.5	-	1.4	12.2	6.8	4.1	41.9
	60～64歳	36	-	-	11.1	-	2.8	8.3	5.6	-	50.0
	65歳以上	76	1.3	-	1.3	-	-	-	-	10.5	78.9
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
現在の就業形態別	自営業主	12	-	-	-	-	-	-	8.3	8.3	50.0
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	14.9	3.0	16.4	-	-	14.9	6.0	1.5	37.3
	派遣・契約社員	16	-	-	25.0	-	12.5	6.3	12.5	-	25.0
	パートタイマー	36	-	-	2.8	-	-	2.8	-	8.3	63.9
	臨時・日雇	4	-	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0
	内職 その他 無回答	4 4 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -

(13) 今後取得したい資格や技術

今後、何らかの資格・技術を取得したい人は18.0%となっている。取得したい資格や技術は、「パソコン・ワープロ」が9.5%で最も割合が高い。

前回調査との比較では、特に大きな差はみられない。

就業形態別にみると、正社員・正職員では「パソコン・ワープロ」(17.9%)、「外国語(会話)」(11.9%)の割合が高くなっている。

図3-21 今後取得したい資格や技術 [複数回答]

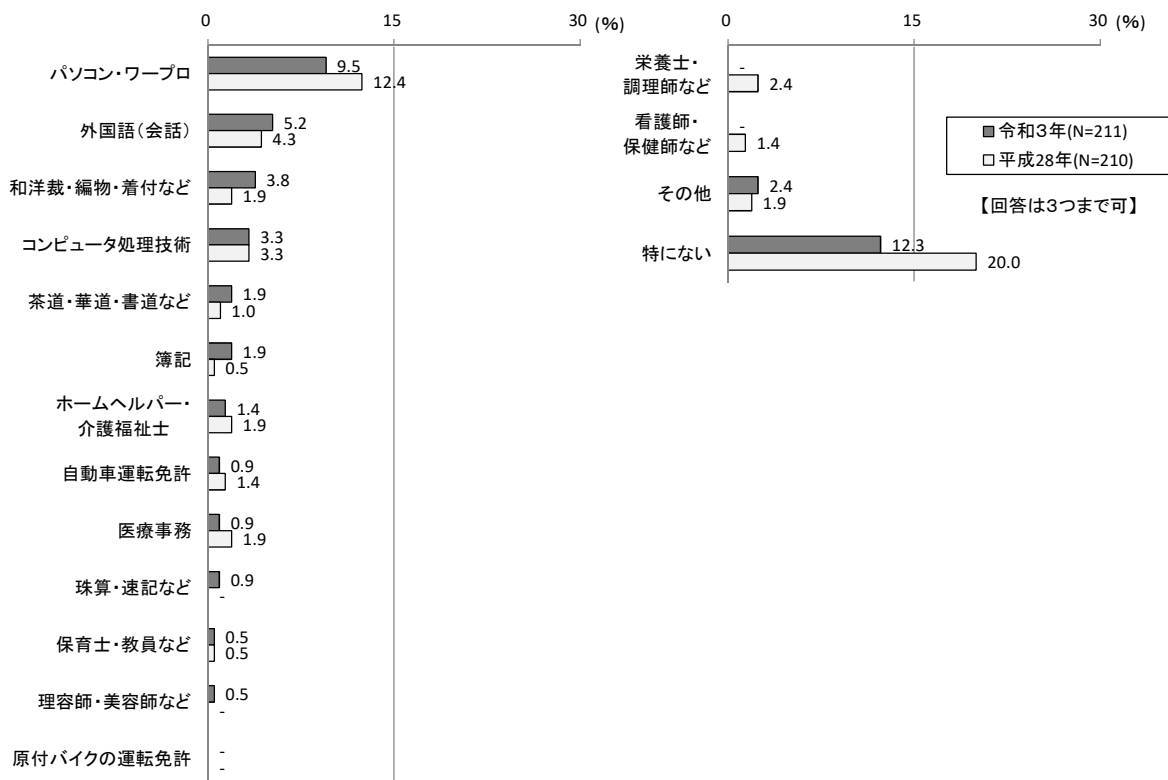


表3-22 今後取得したい資格や技術〔複数回答〕

		標本数	自動車運転免許	原付バイクの運転免許	栄養士・調理師など	保育士・教員など	看護師・保健師など	医療事務	理容師・美容師など	和洋裁・編物・着付など	茶道・華道・書道など
全体		211 100.0	2 0.9	-	-	1 0.5	-	2 0.9	1 0.5	8 3.8	4 1.9
時系列	平成28年	210	1.4	-	2.4	0.5	1.4	1.9	-	1.9	1.0
	平成23年	296	0.7	0.3	2.0	-	-	1.7	-	2.4	2.7
	平成18年	376	2.4	0.3	1.9	0.3	0.3	1.6	0.5	1.3	1.6
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	4.2	-	-	4.2	-	-	-	-	-
	50歳代	74	1.4	-	-	-	-	1.4	1.4	6.8	2.7
	60～64歳	36	-	-	-	-	-	2.8	-	2.8	2.8
	65歳以上	76	-	-	-	-	-	-	-	2.6	1.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現在の就業形態別	自営業主	12	-	-	-	-	-	-	-	8.3	8.3
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	1.5	-	-	1.5	-	-	1.5	6.0	3.0
	派遣・契約社員	16	-	-	-	-	-	6.3	-	-	-
	パートタイマー	36	2.8	-	-	-	-	-	-	-	2.8
	臨時・日雇	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	内職	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

		標本数	簿記	珠算・速記など	パソコン・ワープロ	コンピュータ処理技術	外国語（会話）	ホームヘルパー・介護福祉士	その他	特にない	無回答
全体		211 100.0	4 1.9	2 0.9	20 9.5	7 3.3	11 5.2	3 1.4	5 2.4	26 12.3	147 69.7
時系列	平成28年	210	0.5	-	12.4	3.3	4.3	1.9	1.9	20.0	58.6
	平成23年	296	0.7	-	11.5	2.0	2.4	2.0	1.4	17.6	62.5
	平成18年	376	-	0.3	12.0	1.6	2.7	3.7	2.1	18.1	60.6
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	40歳代	24	4.2	-	20.8	12.5	8.3	-	8.3	4.2	62.5
	50歳代	74	2.7	2.7	10.8	2.7	6.8	2.7	2.7	13.5	62.2
	60～64歳	36	2.8	-	11.1	2.8	5.6	-	2.8	13.9	69.4
	65歳以上	76	-	-	3.9	1.3	2.6	1.3	-	13.2	78.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現在の就業形態別	自営業主	12	-	-	-	-	8.3	-	-	25.0	58.3
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	-	-	17.9	7.5	11.9	3.0	6.0	6.0	61.2
	派遣・契約社員	16	6.3	-	6.3	-	-	-	-	37.5	56.3
	パートタイマー	36	5.6	2.8	11.1	5.6	-	2.8	2.8	8.3	75.0
	臨時・日雇	4	-	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0
	内職	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

4. 住宅の状況

(1) いまの住宅に住むようになった時期と前住地

(ア) かつて母子家庭だった

問 8 あなたが、いまの住宅に住みはじめたのはいつ頃からですか。(〇印は1つ)

現在の住居に住むようになった時期は、「母子家庭になった後から」が51.5%、「母子家庭になる前から」が31.5%となっており、母子家庭になった後で転居した人が多い。

前回調査に比べ、「母子家庭になった後から」が増加している。

年齢別にみると、65歳以上では「母子家庭になる前から」(41.2%)の割合が高くなっている。

図 3-22 いまの住宅に住むようになった時期 (母子家庭だった)

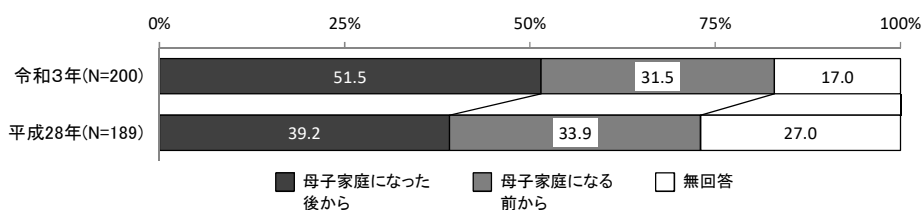


表 3-23 いまの住宅に住むようになった時期 (母子家庭だった)

		標本数	母子家庭になった後から	母子家庭になる前から	無回答
全体		200 100.0	103 51.5	63 31.5	34 17.0
時系列	平成28年	189	39.2	33.9	27.0
	平成23年	282	40.1	25.5	34.4
	平成18年	334	50.9	39.8	9.3
年齢別	39歳以下	1	-	-	100.0
	40歳代	24	70.8	20.8	8.3
	50歳代	72	63.9	25.0	11.1
	60~64歳	35	42.9	34.3	22.9
	65歳以上	68	36.8	41.2	22.1
	無回答	-	-	-	-
理由別	死別	67	19.4	47.8	32.8
	離婚	130	68.5	22.3	9.2
	その他の生別	3	33.3	66.7	-
	かつて母子家庭ではなかった	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-

問 8-1 【母子家庭になった後、いまの住宅に住んでいると答えた方に】いまの住宅に住む前は、どちらに住んでいましたか。福岡県内、県外のいずれかを選び、福岡県内の場合は市町村名、県外の場合は都道府県名を記入してください。(〇印は1つ)

母子家庭になった後から現在の住宅に住んでいる人（103 人）が以前住んでいた地域は、「北九州地域」が 82.5%と最も高く、次いで「県外」が 11.7%、「福岡地域」が 3.9%となっている。

図 3-23 前住地（母子家庭だった）

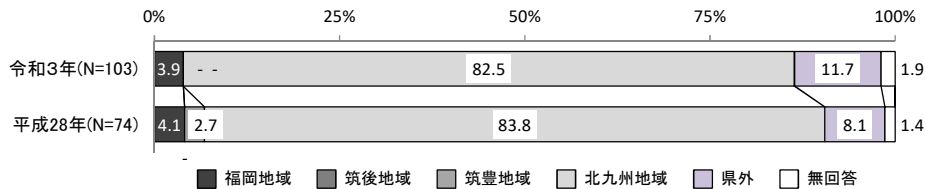


表 3-24 前住地（母子家庭だった）

		標本数	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域	県外	無回答
全体		103	4	-	-	85	12	2
		100.0	3.9	-	-	82.5	11.7	1.9
時系列	平成28年	74	4.1	-	2.7	83.8	8.1	1.4
	平成23年	113	2.7	-	-	82.3	13.3	1.8
	平成18年	170	4.1	1.2	0.7	74.7	15.9	3.5

(イ) かつて母子家庭ではなかった

問 8-2 あなたが、いまの住所に住みはじめたのはいつ頃からですか。(〇印は1つ)

現在の住宅に住むようになった時期は、かつて母子家庭ではなかった人（3人）では「寡婦になった後から」が1人（33.3%）、「寡婦になる前から」が2人（66.7%）となっている。

図 3-24 いまの住宅に住むようになった時期（母子家庭ではなかった）

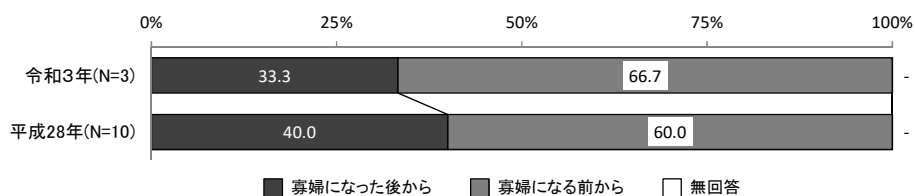


表 3-25 いまの住宅に住むようになった時期（母子家庭ではなかった）

		標本数	寡婦になった後から (%)	寡婦になる前から (%)	無回答 (%)
全体		3	33.3	66.7	-
時系列	平成28年	10	40.0	60.0	-
	平成23年	14	35.7	50.0	14.3
	平成18年	42	38.1	59.5	2.4

問 8-3 【寡婦になった後、いまの住宅に住んでいると答えた方に】いまの住宅に住む前は、どちらに住んでいましたか。福岡県内、県外のいずれかを選び、福岡県内の場合は市町村名、県外の場合は都道府県名を記入してください。(○印は1つ)

寡婦になった後から現在の住宅に住んでいる人（1人）の以前住んでいた地域は「北九州地域」であった。

図 3-25 前住地（母子家庭ではなかった）

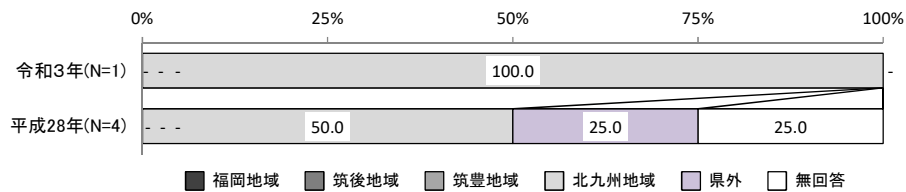


表 3-26 前住地（母子家庭ではなかった）

		標本数	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域	県外	無回答
全体		1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-
時系列	平成28年	4	-	-	-	50.0	25.0	25.0
	平成23年	5	-	-	-	80.0	20.0	-
	平成18年	16	-	-	-	81.3	18.8	-

(2) 住居形態

問9 あなたのいまの住居形態は、次の中のどれにあてはまりますか。(○印は1つ)

現在の住居の形態は、「自分名義の持ち家」が37.4%で最も高い割合を占め、次いで、「民間借家・アパートなど」が18.5%、「家族名義の持ち家」が18.0%、「県営住宅・市営住宅」が10.4%で続いている。

前回調査との比較では、「自分名義の持ち家」「民間借家・アパートなど」が増加している。

年齢別にみると、「自分名義の持ち家」では高い年齢層ほど割合が高くなっている。また、50歳代では「民間借家・アパートなど」(27.0%)の割合が、他に比べ高くなっている。

寡婦になった理由別では、死別の場合「自分名義の持ち家」(62.7%)で割合が高くなっている。

図3-26 住居形態

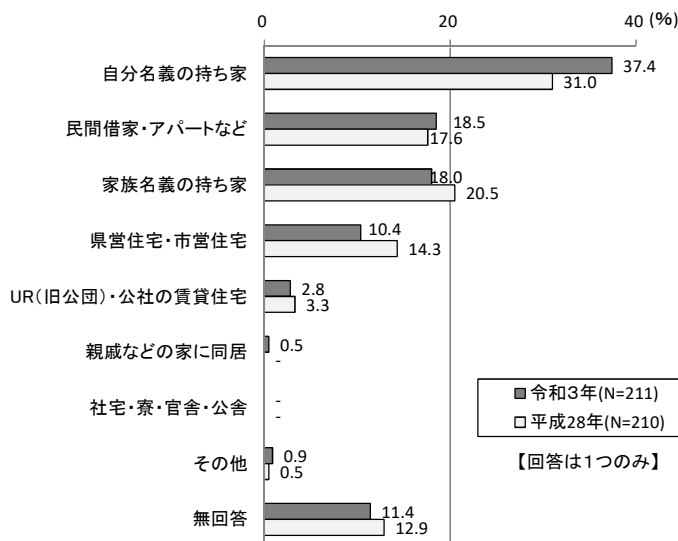


表3-27 住居形態

		標本数	自分名義の持ち家	家族名義の持ち家	親戚などの家に同居	県営住宅・市営住宅	UR(旧公団)・公社の賃貸住宅	民間借家・アパートなど	社宅・寮・官舎・公舎	その他	無回答
全体		211	79	38	1	22	6	39	-	2	24
		100.0	37.4	18.0	0.5	10.4	2.8	18.5	-	0.9	11.4
時系列	平成28年	210	31.0	20.5	-	14.3	3.3	17.6	-	0.5	12.9
	平成23年	296	35.8	18.9	1.0	14.9	4.4	18.9	0.3	2.0	3.7
	平成18年	376	30.9	20.2	0.5	12.8	4.0	23.7	0.3	0.3	7.4
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	40歳代	24	25.0	25.0	4.2	4.2	4.2	20.8	-	-	16.7
	50歳代	74	25.7	17.6	-	10.8	2.7	27.0	-	-	16.2
	60~64歳	36	47.2	22.2	-	5.6	5.6	13.9	-	-	5.6
	65歳以上	76	48.7	14.5	-	14.5	1.3	11.8	-	2.6	6.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理由別	死別	67	62.7	17.9	-	4.5	1.5	7.5	-	1.5	4.5
	離婚	130	24.6	18.5	0.8	12.3	3.8	24.6	-	-	15.4
	その他の生別	7	28.6	-	-	14.3	-	28.6	-	14.3	14.3
	かつて母子家庭ではなかった	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-
	無回答	4	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-

(3) 1ヶ月の家賃（借家の場合）

問9-1 【借家と答えた方に】1ヶ月の家賃はどのくらいですか。管理費、共益費、光熱費などは除きます。（○印は1つ）

借家等に居住している人の1ヶ月の家賃は、「5万～7万円未満」が30.4%、「3万～4万円未満」が21.7%、「2万～2万5,000円未満」が10.1%となっている。

住居形態別でみると、県営住宅・市町村営住宅では『3万円未満』が8割近くを占めており、平均額は2.2万円となっている。民間借家・アパートなどでは「5万～7万円未満」が最も高く、平均額は5.2万円と、県営住宅・市町村営住宅に比べ2万円高くなっている。

図3-27 1ヶ月の家賃（借家の場合）

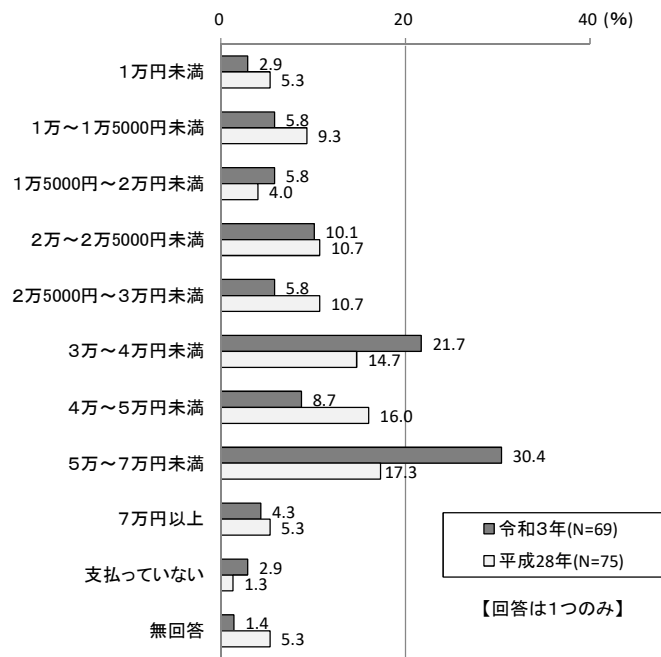


表3-28 1ヶ月の家賃（借家の場合）

		標本数	1万円未満	1万～1万5,000円未満	1万5,000円～2万円未満	2万～2万5,000円未満	2万5,000円～3万円未満	3万～4万円未満	4万～5万円未満	5万～7万円未満	7万円以上	支払っていない	無回答	平均（万円）
全体		69	2.9	5.8	10.1	10.7	21.7	8.7	30.4	4.3	2.9	1.4	4.0	
時系列	平成28年	75	5.3	9.3	10.7	10.7	14.7	16.0	17.3	5.3	1.3	5.3	3.6	
	平成23年	120	2.5	7.5	14.2	5.0	6.7	20.8	14.2	18.3	2.5	-	8.3	3.6
	平成18年	154	3.2	14.3	7.8	5.8	8.4	20.8	11.7	19.5	3.9	0.6	3.9	3.6
住居形態別	持ち家	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	親戚などの家に同居	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	県営住宅・市営住宅	22	4.5	18.2	18.2	27.3	9.1	18.2	-	-	-	-	4.5	2.2
	UR(旧公団)・公社の賃貸住宅	6	-	-	-	-	16.7	50.0	-	33.3	-	-	-	4.2
	民間借家・アパートなど	39	-	-	-	2.6	2.6	20.5	12.8	48.7	7.7	5.1	-	5.2
	社宅・寮・官舎・公舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	2.5	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※平均は「1万円未満」は5,000円、「1万～1万5,000円未満」は1万2,500円など、それぞれの中間値をとり、「7万円以上」は7万円として、「支払っていない」と無回答を除いた標本数で算出した。

(4) 現在の住居に対する今後の居住意向

問 10 あなたは、いまの住宅に住み続けたいと思いますか。(○印は1つ)

現在の住居に「住み続けたい」は 57.8%、「転居したい」は 14.2%、「どちらともいえない」は 17.5%となっている。

前回調査と比べると、「住み続けたい」が増加している。

住居形態別にみると、持ち家居住者では「住み続けたい」が 77.8%と高い割合を占め、民間借家・アパート居住者では「転居したい」が 43.6%で最も高い割合を占める。

図 3-28 現在の住居に対する今後の居住意向

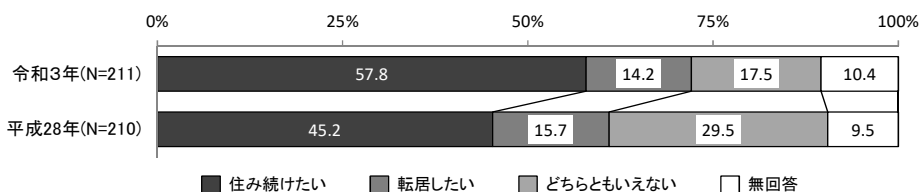


表 3-29 現在の住居に対する今後の居住意向

		標本数	住み続けたい (%)	転居したい (%)	どちらともいえない (%)	無回答 (%)
全体		211	57.8	14.2	17.5	10.4
時系列	平成28年	210	45.2	15.7	29.5	9.5
	平成23年	296	56.4	15.2	23.3	5.1
	平成18年	376	50.3	17.3	22.9	9.6
	持ち家	117	77.8	3.4	16.2	2.6
住居形態別	親戚などの家に同居	1	-	100.0	-	-
	県営住宅・市営住宅	22	54.5	27.3	18.2	-
	UR(旧公団)・公社の賃貸住宅	6	33.3	-	66.7	-
	民間借家・アパートなど	39	30.8	43.6	25.6	-
	社宅・寮・官舎・公舎	-	-	-	-	-
	その他	2	100.0	-	-	-
	無回答	24	12.5	8.3	-	79.2

(5) 公営住宅への入居希望

問 10-1 【転居したいと答えた方に】あなたは、公営住宅（県営住宅・市町村営住宅）への入居を希望しますか。（○印は1つ）

転居を希望している人の公営住宅への入居希望は、『入居を希望する』が 40.0%、「入居を希望しない」が 56.7%となっており、前回調査に比べると、「入居を希望しない」割合が大きく増加している。

年齢別にみると、60～64 歳では「希望する（応募した経験あり）」（66.7%）の割合が高くなっている。

世帯年収別にみると、比較的低い年収層で、入居希望の割合が高い傾向にある。

図 3-29 公営住宅への入居希望

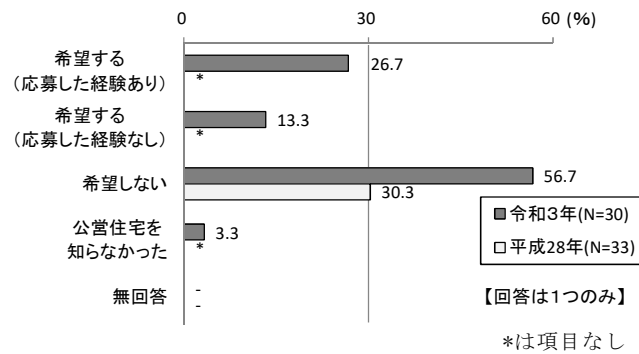


表 3-30 公営住宅への入居希望

		標本数	希望する (応募した経験あり)	希望する (応募した経験なし)	希望しない	公営住宅を知らなかった	無回答
全体		30	8	4	17	1	-
		100.0	26.7	13.3	56.7	3.3	-
時系列	平成28年	33	69.7	-	30.3	...	-
	平成23年	45	71.1	-	28.9	...	-
	平成18年	65	80.0	-	18.5	...	1.5
年齢別	39歳以下	-	-	-	-	-	-
	40歳代	4	50.0	-	50.0	-	-
	50歳代	17	11.8	17.6	64.7	5.9	-
	60～64歳	3	66.7	-	33.3	-	-
	65歳以上	6	33.3	16.7	50.0	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
世帯年収別	100～150万円未満	5	60.0	-	40.0	-	-
	150～200万円未満	3	-	33.3	33.3	33.3	-
	200～300万円未満	7	57.1	-	42.9	-	-
	300～400万円未満	6	16.7	33.3	50.0	-	-
	400～500万円未満	4	-	25.0	75.0	-	-
	500～700万円未満	3	-	-	100.0	-	-
	700～1,000万円未満	1	-	-	100.0	-	-
	1,000万円以上	-	-	-	-	-	-
	無回答	1	-	-	100.0	-	-

※ 「希望する（応募した経験あり）」 「希望する（応募した経験なし）」 …平成 28 年以前は 「入居を希望する」 の数値。

5. 生計の状況

(1) 主たる収入源

問 11 あなたの世帯の生活費は、主に何によってまかなわれていますか。(〇印は1つ)

世帯の生活費を主にどの収入によってまかなっているかについては、「自分の主な仕事による収入」が57.8%、「年金（遺族基礎年金など）」が31.8%、「子どもや家族の仕事による収入」が6.2%、「生活保護」が1.9%となっており、大半は自身の仕事による収入が主な収入源となっている。前回調査と比較すると、「自分の主な仕事による収入」が減少し、「年金（遺族基礎年金など）」がやや増加している。

年齢別にみると、40歳から64歳までの年齢層では「自分の主な仕事による収入」の割合が高く、65歳以上では「年金（遺族基礎年金など）」の割合が最も高い。

寡婦になった理由別では、死別、かつて母子家庭ではなかった場合「年金（遺族基礎年金など）」の割合が高く、離婚、その他の生別では「自分の主な仕事による収入」の割合が高くなっている。

図 3-30 主たる収入源

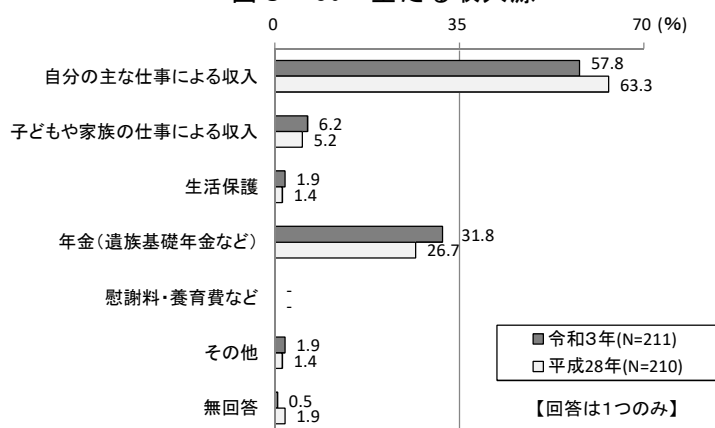


表 3-31 主たる収入源

		標本数	自分の主な仕事による収入	子どもや家族の仕事による収入	生活保護	年金（遺族基礎年金など）	感謝料・養育費など	その他	無回答
全体		211	122	13	4	67	-	4	1
		100.0	57.8	6.2	1.9	31.8	-	1.9	0.5
時系列	平成28年	210	63.3	5.2	1.4	26.7	-	1.4	1.9
	平成23年	296	52.4	8.8	3.7	29.4	-	3.4	2.4
	平成18年	376	40.7	11.7	1.3	38.6	0.5	4.8	2.4
年齢別	39歳以下	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	40歳代	24	100.0	-	-	-	-	-	-
	50歳代	74	85.1	5.4	2.7	5.4	-	1.4	-
	60～64歳	36	63.9	2.8	2.8	27.8	-	2.8	-
	65歳以上	76	15.8	9.2	1.3	69.7	-	2.6	1.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
理由別	死別	67	29.9	4.5	-	62.7	-	3.0	-
	離婚	130	75.4	6.2	3.1	13.1	-	1.5	0.8
	その他の生別	7	57.1	-	-	42.9	-	-	-
	かつて母子家庭ではなかった	3	-	33.3	-	66.7	-	-	-
	無回答	4	-	25.0	-	75.0	-	-	-

(2) 従たる収入源

問 12 それ以外にはどのような収入がありますか。(○印は1つ)

主な収入源以外では、「ほかに収入はない」が 31.3%を占めており、収入がある場合では「年金（遺族基礎年金など）」が 23.7%、「子どもや家族の仕事による収入」が 23.2%、「自分の主な仕事による収入」が 11.8%で続いている。

前回調査と比較すると、「子どもや家族の仕事による収入」が 8.9 ポイント、「自分の仕事による収入」が 4.2 ポイント増加している。

年齢別では、40 歳から 64 歳では「子どもや家族の仕事による収入」の割合が高く、65 歳以上では「年金（遺族基礎年金など）」が高い割合を占めている。

寡婦になった理由別では、死別の場合「年金（遺族基礎年金など）」(40.3%) の割合が高く、離婚の場合「子どもや家族の仕事による収入」(26.9%) の割合が高くなっている。

図 3-31 従たる収入源 [複数回答]

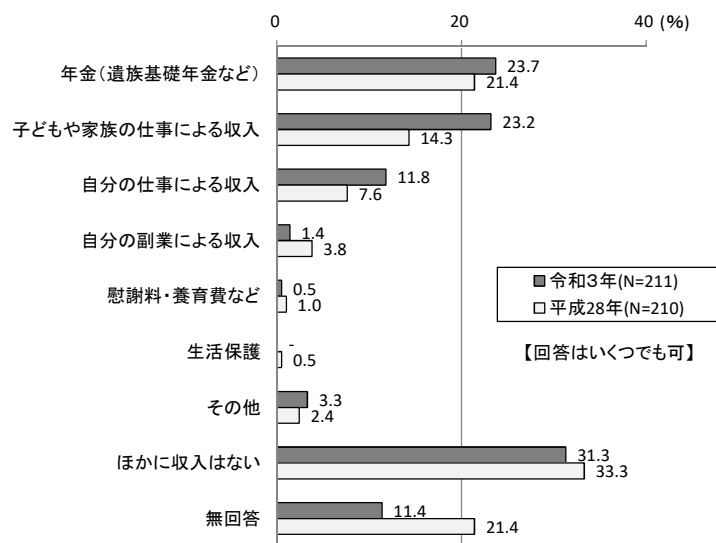


表 3-32 従たる収入源 [複数回答]

		標本数	自分の仕事による収入	自分の副業による収入	子どもや家族の仕事による収入	生活保護	年金(遺族基礎年金など)	慰謝料・養育費など	その他	ほかに収入はない	無回答
全体		211	25	3	49	-	50	1	7	66	24
		100.0	11.8	1.4	23.2	-	23.7	0.5	3.3	31.3	11.4
時系列	平成28年	210	7.6	3.8	14.3	0.5	21.4	1.0	2.4	33.3	21.4
	平成23年	296	13.2	...	18.2	-	19.6	0.7	3.7	37.8	15.9
	平成18年	376	10.9	...	15.2	-	16.5	0.3	4.8	36.2	20.2
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	40歳代	24	8.3	4.2	25.0	-	4.2	4.2	-	45.8	12.5
	50歳代	74	12.2	1.4	25.7	-	13.5	-	5.4	37.8	9.5
	60~64歳	36	11.1	2.8	27.8	-	27.8	-	2.8	19.4	11.1
	65歳以上	76	13.2	-	18.4	-	38.2	-	2.6	26.3	11.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理由別	死別	67	11.9	-	17.9	-	40.3	-	4.5	28.4	9.0
	離婚	130	10.8	1.5	26.9	-	14.6	0.8	2.3	33.8	13.1
	その他の生別	7	-	14.3	14.3	-	28.6	-	-	42.9	-
	かつて母子家庭ではなかった	3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-
	無回答	4	50.0	-	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0
家計の状態別	十分やっつけている	21	9.5	-	14.3	-	47.6	-	4.8	14.3	23.8
	だいたいやっつけている	80	13.8	2.5	27.5	-	26.3	-	3.8	32.5	3.8
	時々赤字になる	55	7.3	-	27.3	-	18.2	-	1.8	34.5	12.7
	とても足りない	51	15.7	-	15.7	-	17.6	2.0	3.9	35.3	13.7
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	50.0

(3) 年間税込み収入

問 13 あなたご自身の1年間の収入（児童扶養手当、年金、養育費等も含めて）は、税込みでどのくらいですか。ただし、生活保護による収入は除きます。（○印は1つ）

回答者本人の年間税込み収入は、「150万円未満」が25.1%で最も割合が高く、次いで「150～200万円未満」が21.8%、「200～300万円未満」が18.5%で続いており、『300万円未満』の割合が6割を超えている。平均の年間税込み収入は249万円となっている。

年齢別にみると、60歳以上の年齢層では「150万円未満」の割合が最も高い。

寡婦になった理由別では、いずれも400万円未満の年収層での回答が多く、平均の年間税込み収入は、最も高い離婚で276万円、最も低いかつて母子家庭ではなかった場合で167万円となっている。

就業形態別では、正社員・正職員で平均の年間税込み収入が394万円であるのに対し、非正規雇用である派遣・契約社員では234万円、パートタイマーでは160万円と、差が大きくなっている。

図 3-32 回答者本人の年間税込み収入

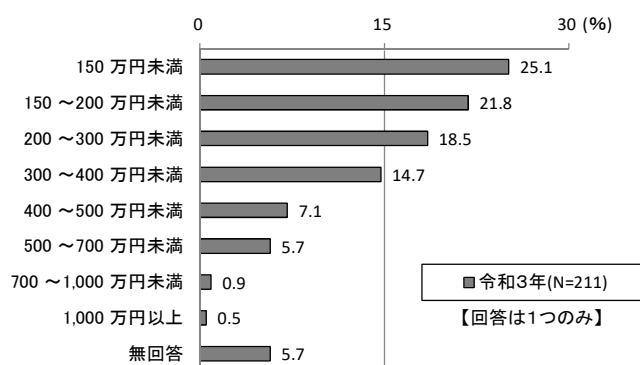


表3-33 回答者本人の年間税込み収入

		(%)										
		標本数	150万円未満	150万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	700万円未満	1,000万円以上	無回答	平均(万円)
全体		211	53	46	39	31	15	12	2	1	12	249
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	350
	40歳代	24	12.5	20.8	25.0	20.8	8.3	12.5	-	-	-	294
	50歳代	74	8.1	21.6	21.6	18.9	12.2	9.5	2.7	-	5.4	316
	60～64歳	36	27.8	16.7	13.9	22.2	8.3	2.8	-	2.8	5.6	265
	65歳以上	76	44.7	25.0	15.8	3.9	1.3	1.3	-	-	7.9	157
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理由別	死別	67	28.4	28.4	22.4	6.0	6.0	3.0	-	-	6.0	205
	離婚	130	23.8	16.9	15.4	20.0	7.7	7.7	1.5	0.8	6.2	276
	その他の生別	7	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	-	-	-	-	246
	かつて母子家庭ではなかった	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	167
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	169
現在の就業形態別	自営業主	12	25.0	25.0	-	16.7	8.3	16.7	-	-	8.3	282
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	1.5	6.0	20.9	34.3	17.9	13.4	3.0	1.5	1.5	394
	派遣・契約社員	16	6.3	31.3	50.0	6.3	6.3	-	-	-	-	234
	パートタイマー	36	36.1	38.9	22.2	2.8	-	-	-	-	-	160
	臨時・日雇	4	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	169
	内職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	4	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	413
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※平均は「150万円未満」は75万円、「150～200万円未満」は175万円などそれぞれ中間値をとり、「1,000万円以上」は1,200万円とし、無回答を除いた標本数で算出した。

問 13-1 あなたの世帯全員の1年間の収入は、税込みでどのくらいですか。ただし、生活保護による収入は除きます。(○印は1つ)

世帯全員の年間税込み収入は、「200～300万円未満」が17.5%で最も割合が高く、次いで「300～400万円未満」が15.6%、「500～700万円未満」が14.2%、「150～200万円未満」が13.3%で続いており、『400万円未満』(57.3%)の割合が6割弱を占める。平均の年間税込み収入は、389万円となっている。

年齢別にみると、50歳代以下の年齢層では「300～400万円未満」の割合が最も高く、60～64歳では「200～300万円未満」「500～700万円未満」が同率(いずれも19.4%)、65歳以上では「200～300万円未満」(19.7%)の割合が最も高い。平均世帯年収は、最も高い39歳以下で600万円、最も低い65歳以上で320万円となっている。

図 3-33 世帯全員の年間税込み収入

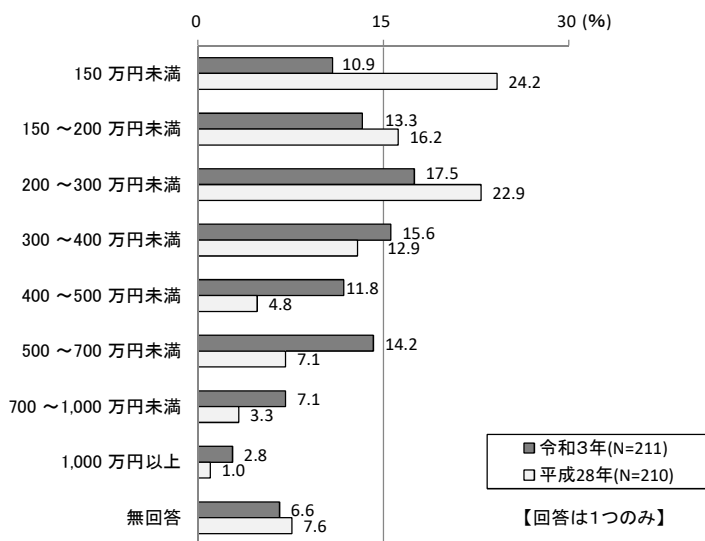


表 3-34 世帯全員の年間税込み収入

		標本数	150万円未満	150～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答	平均(万円)
全体		211	23	28	37	33	25	30	15	6	14	389
時系列	平成28年	210	24.2	16.2	22.9	12.9	4.8	7.1	3.3	1.0	7.6	283
	平成23年	296	34.8	13.9	19.6	13.2	4.4	5.1	2.0	2.7	4.4	277
	平成18年	376	32.7	16.2	17.3	12.5	5.6	5.9	2.7	0.5	6.6	255
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	600
	40歳代	24	12.5	4.2	16.7	20.8	8.3	16.7	16.7	-	4.2	428
	50歳代	74	2.7	16.2	14.9	21.6	13.5	12.2	9.5	5.4	4.1	440
	60～64歳	36	11.1	13.9	19.4	16.7	8.3	19.4	5.6	2.8	2.8	385
	65歳以上	76	18.4	13.2	19.7	7.9	13.2	11.8	2.6	1.3	11.8	320
参考	母子家庭	1,231	18.4	18.0	23.2	16.9	6.9	7.1	2.4	1.3	5.9	289
	父子家庭	388	6.4	8.2	11.3	17.8	15.2	21.1	11.9	3.6	4.4	470

※平均は「150万円未満」は75万円、「150～200万円未満」は175万円などそれぞれ中間値をとり、「1,000万円以上」は1,200万円とし、無回答を除いた標本数で算出した。

(4) 課税状況

問 14 あなたの所得に所得税や市町村民税はかかっていますか。(○印はそれぞれ1つ)

回答者本人の所得への所得税や市町村民税の課税状況は、所得税については「かかっている」が55.9%、「かかっていない」が40.8%となっている。市町村民税は、「かかっている」が57.3%、「かかっていない」が35.5%である。

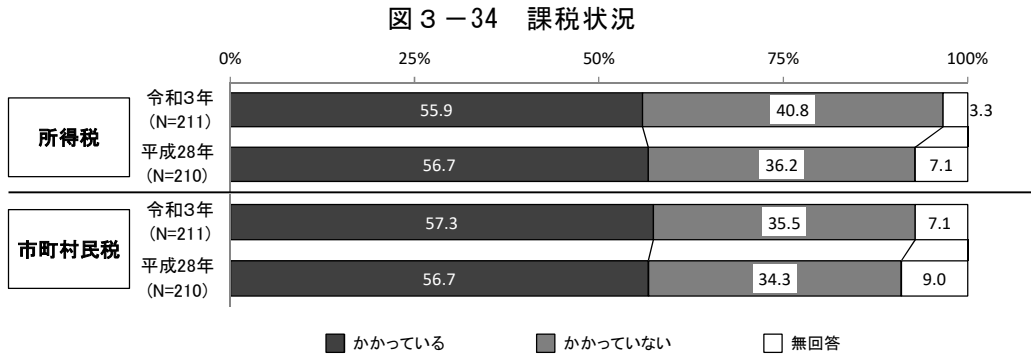


表 3-35 課税状況

(%)

	標本数	所得税			市町村民税			
		かかっている	かかっていない	無回答	かかっている	かかっていない	無回答	
全体	211	118	86	7	121	75	15	
	100.0	55.9	40.8	3.3	57.3	35.5	7.1	
時系列	平成28年	210	56.7	36.2	7.1	56.7	34.3	9.0
	平成23年	296	49.0	43.6	7.4	49.0	39.2	11.8
	平成18年	376	42.8	46.3	10.9	41.0	43.9	15.2

(5) 家計の状態

問 15 あなたの家計の状態は、次の中のどれにあてはまりますか。(○印は1つ)

家計の状態についてみると、「十分やっつけていける」が10.0%、「だいたいやっつけていける」が37.9%で、両方を合わせた『やっつけていける』とする割合は47.9%を占める。「時々赤字になる」「とても足りない」を合わせた『やっつけていけない』の割合は50.3%で、『やっつけていける』『やっつけていけない』が拮抗している。

前回調査と比べると、『やっつけていける』の割合が3.6ポイント増加しており、経年でみると、『やっつけていける』が増加傾向にある。

寡婦になった理由別にみると、離婚、かつて母子家庭ではなかった場合、『やっつけていけない』の割合がいずれも6割を超えている。

現在の仕事の有無別では、特に大きな差はみられない。

就業形態別では、正社員・正職員に比べ、派遣・契約社員、パートタイマーなどの非正規雇用では『やっつけていけない』の割合が高くなっている。

世帯年収別にみると、400万円未満の各年収層で『やっつけていけない』の割合が高くなっている。

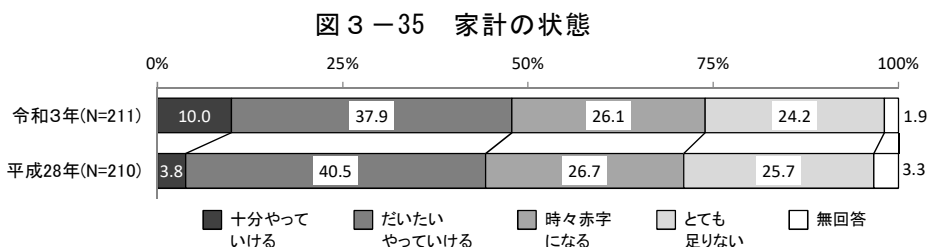


表3-36 家計の状態

		(%)					
		標本数	十分や つていける	だ いたい や つていける	時 々 赤 字 に なる	と と も 足 り な い	無 回 答
全 体		211 100.0	21 10.0	80 37.9	55 26.1	51 24.2	4 1.9
時 系 列	平成28年	210	3.8	40.5	26.7	25.7	3.3
	平成23年	296	6.4	35.5	30.7	23.6	3.7
	平成18年	376	5.6	33.8	31.1	25.3	4.3
理 由 別	死別	67	13.4	55.2	14.9	11.9	4.5
	離婚	130	7.7	29.2	31.5	30.8	0.8
	その他の生別	7	14.3	42.9	28.6	14.3	-
	かつて母子家庭ではなかった	3	-	33.3	33.3	33.3	-
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-
別 事 の 在 有 の 無 仕	持っている	139	11.5	36.0	26.6	24.5	1.4
	持っていない	71	7.0	42.3	25.4	23.9	1.4
	無回答	1	-	-	-	-	100.0
現 在 の 就 業 形 態 別	自営業主	12	-	50.0	16.7	33.3	-
	家族従業者	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	16.4	34.3	28.4	17.9	3.0
	派遣・契約社員	16	12.5	31.3	25.0	31.3	-
	パートタイマー	36	2.8	41.7	25.0	30.6	-
	臨時・日雇	4	-	-	50.0	50.0	-
	内職	-	-	-	-	-	-
	その他	4	50.0	25.0	25.0	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
世 帯 年 収 別	100～150万円未満	23	-	17.4	13.0	69.6	-
	150～200万円未満	28	7.1	32.1	21.4	39.3	-
	200～300万円未満	37	2.7	40.5	37.8	18.9	-
	300～400万円未満	33	6.1	30.3	39.4	24.2	-
	400～500万円未満	25	8.0	72.0	12.0	4.0	4.0
	500～700万円未満	30	13.3	46.7	26.7	6.7	6.7
	700～1,000万円未満	15	40.0	33.3	20.0	6.7	-
	1,000万円以上	6	50.0	50.0	-	-	-
	無回答	14	7.1	14.3	35.7	35.7	7.1

(6) 現在不足している費用

問 16 あなたにとって、いま現在、不足している費用はありますか。(〇印は3つまで)

現在不足している費用は、「日常の生活費（食費・医療費・光熱費など）」が 33.6%で最も割合が高く、次に「住宅の増改築、新築などのための費用」が 18.5%、「子どもの結婚のための費用」が 11.8%で続いている。

年齢別にみると、40 歳代では「子どもの就学、通学のための費用」(29.2%)の割合が高い。また 50 歳代以上の各年齢層では、「日常の生活費」の割合も高くなっている。

現在の仕事の有無別にみると、仕事を持っていない人は「療養のための費用」の割合が持っている人に比べ高くなっている。

就業形態別にみると、「日常の生活費（食費・医療費・光熱費など）」では、派遣・契約社員 (43.8%)、パートタイマー (38.9%)、臨時・日雇 (100.0%) などの非正規雇用で割合が高くなっている。

世帯年収別にみると、「日常の生活費（食費・医療費・光熱費など）」では、比較的低い年収層で割合が高くなる傾向にある。また、300～400 万円未満では「子どもの就学、通学のための費用」、「子どもの結婚のための費用」（いずれも 24.2%）の割合が、他に比べ高くなっている。

図 3-36 現在不足している費用 [複数回答]

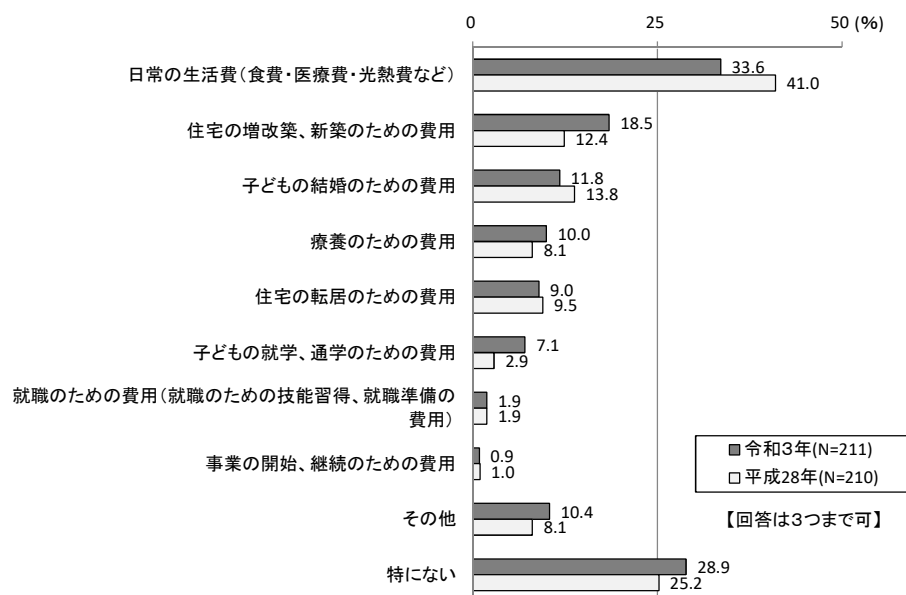


表3-37 現在不足している費用〔複数回答〕

		(%)											
		標本数	療費・日常生活費（食費・医療費など）	就職のための費用（習得・就職準備の費用）	事業の開始、継続のための費用	療養のための費用	子どもの就学、通学のための費用	子どもの結婚のための費用	住宅の増改築、新築のための費用	住宅の転居のための費用	その他	特にない	無回答
全体		211 100.0	71 33.6	4 1.9	2 0.9	21 10.0	15 7.1	25 11.8	39 18.5	19 9.0	22 10.4	61 28.9	11 5.2
時系列	平成28年	210	41.0	1.9	1.0	8.1	2.9	13.8	12.4	9.5	8.1	25.2	11.4
	平成23年	296	39.5	3.0	3.4	6.8	1.0	9.8	15.2	11.1	6.8	31.1	7.4
	平成18年	376	37.5	4.5	4.0	10.1	1.6	10.1	15.2	10.1	5.3	27.7	9.6
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	40歳代	24	25.0	-	4.2	-	29.2	16.7	20.8	12.5	16.7	29.2	-
	50歳代	74	33.8	4.1	1.4	12.2	8.1	20.3	18.9	14.9	13.5	21.6	5.4
	60～64歳	36	30.6	2.8	-	2.8	5.6	11.1	25.0	8.3	8.3	44.4	-
	65歳以上	76	38.2	-	-	14.5	-	2.6	14.5	2.6	6.6	27.6	9.2
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
別事現在の有無	持っている	139	31.7	2.2	1.4	8.6	10.8	16.5	19.4	13.7	12.2	27.3	4.3
	持っていない	71	38.0	1.4	-	12.7	-	2.8	16.9	-	7.0	32.4	5.6
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
現在の就業形態別	自営業主	12	16.7	-	8.3	8.3	16.7	16.7	33.3	-	8.3	41.7	8.3
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	25.4	1.5	1.5	7.5	14.9	20.9	16.4	17.9	10.4	28.4	6.0
	派遣・契約社員	16	43.8	6.3	-	6.3	-	12.5	43.8	12.5	31.3	18.8	-
	パートタイマー	36	38.9	2.8	-	13.9	8.3	11.1	13.9	13.9	11.1	22.2	2.8
	臨時・日雇	4	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	内職	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	75.0	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
世帯年収別	100～150万円未満	23	56.5	8.7	4.3	13.0	8.7	8.7	21.7	8.7	8.7	4.3	8.7
	150～200万円未満	28	35.7	-	-	17.9	3.6	14.3	21.4	7.1	21.4	21.4	7.1
	200～300万円未満	37	54.1	5.4	-	10.8	2.7	8.1	13.5	16.2	5.4	27.0	-
	300～400万円未満	33	33.3	-	-	9.1	24.2	24.2	18.2	6.1	9.1	27.3	-
	400～500万円未満	25	16.0	-	4.0	4.0	4.0	4.0	24.0	12.0	8.0	40.0	4.0
	500～700万円未満	30	16.7	-	-	3.3	3.3	13.3	20.0	13.3	16.7	30.0	10.0
	700～1,000万円未満	15	6.7	-	-	6.7	-	6.7	6.7	-	6.7	73.3	6.7
	1,000万円以上	6	-	-	-	16.7	-	33.3	33.3	-	-	50.0	-
無回答	14	50.0	-	-	14.3	7.1	-	14.3	-	7.1	14.3	14.3	

6. 健康状態

(1) 本人の健康状態

問 17 あなたの健康状態は、いかがですか。(〇印は1つ)

本人の健康状態については、「健康」が18.0%、「おおむね健康」が56.4%となっており、両方を合わせ7割超が『健康』と回答している。一方、「病気がち」は14.7%、「病気」は10.0%で、健康状態がよくないとする人は2割程度であった。前回調査より、「おおむね健康」とする人の割合が4.5ポイント増加している。

年齢別にみると、「健康」の割合は若い年齢層で高い傾向にある。

現在の仕事の有無別にみると、いずれも『健康』の割合が高いものの、無職者では有職者に比べ、「病気がち」(21.1%)、「病気」(15.5%)の割合が高くなっている。

図 3-37 本人の健康状態

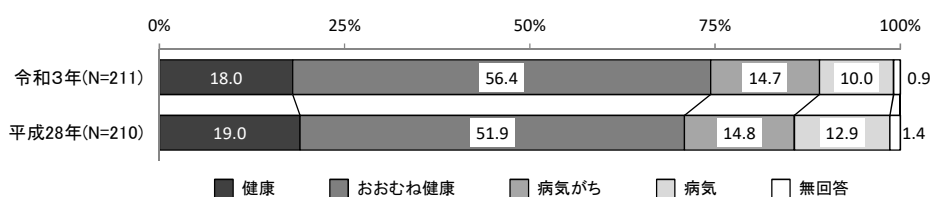


表 3-38 本人の健康状態

		標本数	健康	おおむね健康	病気がち	病気	無回答
全体		211	38	119	31	21	2
		100.0	18.0	56.4	14.7	10.0	0.9
時系列	平成28年	210	19.0	51.9	14.8	12.9	1.4
	平成23年	296	20.6	50.3	15.5	11.1	2.4
	平成18年	376	16.5	48.4	21.3	12.5	1.3
年齢別	39歳以下	1	-	100.0	-	-	-
	40歳代	24	25.0	58.3	4.2	12.5	-
	50歳代	74	18.9	58.1	14.9	6.8	1.4
	60～64歳	36	16.7	61.1	16.7	5.6	-
	65歳以上	76	15.8	51.3	17.1	14.5	1.3
	無回答	-	-	-	-	-	-
別事現在の有無	持っている	139	22.3	58.3	11.5	7.2	0.7
	持っていない	71	9.9	52.1	21.1	15.5	1.4
	無回答	1	-	100.0	-	-	-
世帯年収別	100～150万円未満	23	8.7	43.5	21.7	26.1	-
	150～200万円未満	28	10.7	50.0	21.4	14.3	3.6
	200～300万円未満	37	13.5	67.6	5.4	13.5	-
	300～400万円未満	33	27.3	63.6	3.0	6.1	-
	400～500万円未満	25	16.0	84.0	-	-	-
	500～700万円未満	30	20.0	56.7	20.0	3.3	-
	700～1,000万円未満	15	33.3	26.7	26.7	6.7	6.7
	1,000万円以上	6	33.3	33.3	33.3	-	-
	無回答	14	14.3	35.7	35.7	14.3	-

(2) 病気の時の身の回りの世話

問 18 もしも、あなたが重い病気にかかったり、入院した場合、あなたの身の回りの世話は、主にどなたがしますか。(○印は1つ)

本人が重い病気にかかったりした場合の身の回りの世話は、「子どもや家族」が 77.7%、で最も高い割合を占め、次いで「実家や親せきの人」が 3.8%で、家族・親族が中心である。また、「世話をしてくれる人がいない」は 11.8%となっている。

前回調査と比べると、「子どもや家族」が増加し、「実家や親せきの人」が減少している。

図 3-38 病気の時の身の回りの世話

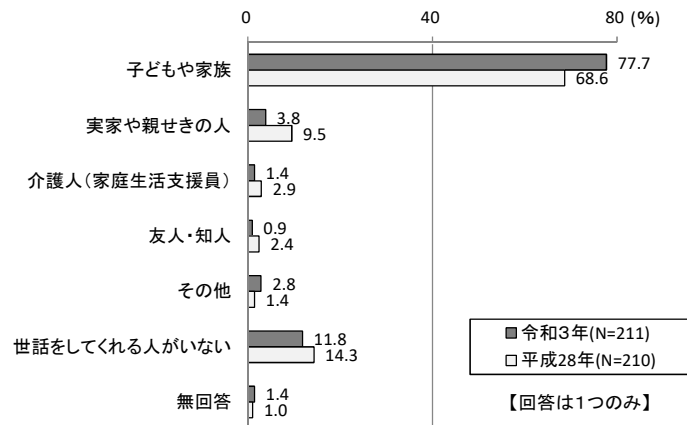


表 3-39 病気の時の身の回りの世話

		標本数	子どもや家族	実家や親せきの人	友人・知人	介護人(家庭生活支援員)	その他	世話をしてくれる人がいない	無回答
全体		211	164	8	2	3	6	25	3
		100.0	77.7	3.8	0.9	1.4	2.8	11.8	1.4
時系列	平成28年	210	68.6	9.5	2.4	2.9	1.4	14.3	1.0
	平成23年	296	73.0	5.4	1.0	3.0	1.0	14.2	2.4
	平成18年	376	67.3	7.7	1.6	2.7	1.3	17.3	2.1
年齢別	39歳以下	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	70.8	8.3	4.2	-	-	12.5	4.2
	50歳代	74	78.4	4.1	-	-	2.7	14.9	-
	60~64歳	36	83.3	5.6	-	-	2.8	8.3	-
	65歳以上	76	76.3	1.3	1.3	3.9	3.9	10.5	2.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 医療保険

問 19 あなたの医療保険(健康保険証)は、次の中のどれにあてはまりますか。(○印は1つ)

回答者本人の医療保険は、「社会保険など(会社の健康保険)」が56.4%で最も割合が高く、「国民健康保険」が36.0%、「医療扶助(生活保護)」が2.4%となっている。前回調査から、「社会保険など(会社の健康保険)」が増加し、「国民健康保険」の割合が減少している。

年齢別にみると、64歳以下では「社会保険など(会社の健康保険)」、65歳以上では「国民健康保険」の割合が高くなっている。

図 3-39 医療保険

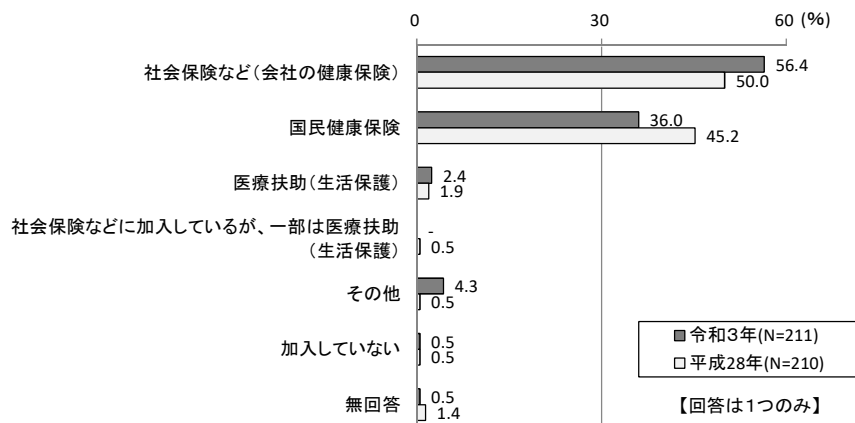


表 3-40 医療保険

		標本数	国民健康保険	社会保険など(会社の健康保険)	社会保険などに加入しているが、一部は医療扶助(生活保護)	医療扶助(生活保護)	その他	加入していない	無回答
全体		211	76	119	5	9	1	1	
		100.0	36.0	56.4	2.4	4.3	0.5	0.5	
時系列	平成28年	210	45.2	50.0	0.5	1.9	0.5	1.4	
	平成23年	296	47.3	43.6	0.7	3.4	2.7	1.7	
	平成18年	376	54.8	38.0	0.3	1.3	0.5	2.9	
年齢別	39歳以下	1	-	100.0	-	-	-	-	
	40歳代	24	20.8	79.2	-	-	-	-	
	50歳代	74	12.2	82.4	-	2.7	1.4	1.4	
	60~64歳	36	30.6	66.7	-	2.8	-	-	
	65歳以上	76	67.1	18.4	-	2.6	10.5	1.3	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	

7. 生活状況

(1) 近所づきあいの程度

問 20 あなたのふだんの近所づきあいはいかがですか。(〇印は1つ)

ふだんの近所づきあいの程度は、「あいさつをする程度」が51.7%で最も割合が高く、次いで「会えば立ち話をする程度」が29.4%、「お互いに家を行き来する程度」が4.3%となっており、「つきあいはない」との回答は14.7%であった。前回調査に比べ、「つきあいはない」が増加している。経年でみると、「お互いに家を行き来する程度」「会えば立ち話をする程度」の割合は減少傾向にある。

年齢別にみると、「会えば立ち話をする程度」では、40歳以上で高い年齢層ほど割合が高くなっている。

図 3-40 近所づきあいの程度

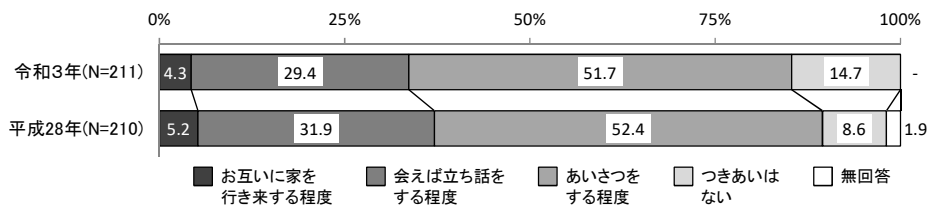


表 3-41 近所づきあいの程度

		標本数	お互いに家を行き来する程度	会えば立ち話をする程度	あいさつをする程度	つきあいはない	無回答
全体		211	9	62	109	31	-
		100.0	4.3	29.4	51.7	14.7	-
時系列	平成28年	210	5.2	31.9	52.4	8.6	1.9
	平成23年	296	7.4	41.2	43.6	5.7	2.0
	平成18年	376	10.6	40.7	41.0	6.6	1.1
年齢別	39歳以下	1	-	100.0	-	-	-
	40歳代	24	-	12.5	45.8	41.7	-
	50歳代	74	-	20.3	66.2	13.5	-
	60～64歳	36	5.6	22.2	63.9	8.3	-
	65歳以上	76	9.2	46.1	34.2	10.5	-
	無回答	-	-	-	-	-	-

(2) 生きがいを感じること

問 21 あなたは毎日の生活で、どのようなことに生きがいを感じますか。(〇印は3つまで)

毎日の生活で生きがいを感じることは、「子どもの成長」が31.8%で最も高い割合を占め、次いで「趣味やスポーツ」が30.3%、「娯楽」が22.3%、「仕事」が21.3%が続いている。「特にない」は24.6%であった。

前回調査と比べると、「仕事」「自立した生活」がやや減少している。

年齢別にみると「子どもの成長」「仕事」では、低い年齢層で割合が高くなっている。

現在の仕事の有無別では、仕事を持っている人で「子どもの成長」(40.3%)、「仕事」(31.7%)の割合が高くなっている。

図 3-41 生きがいを感じること [複数回答]

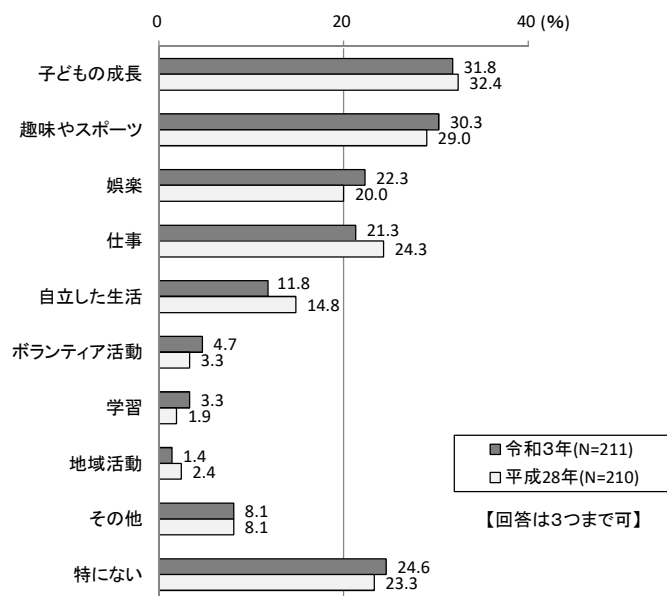


表3-42 生きがいを感じる事 [複数回答]

													(%)
		標本数	子どもの成長	仕事	趣味やスポーツ	学習	娯楽	地域活動	ボランティア活動	自立した生活	その他	特にない	無回答
全体		211 100.0	67 31.8	45 21.3	64 30.3	7 3.3	47 22.3	3 1.4	10 4.7	25 11.8	17 8.1	52 24.6	5 2.4
時系列	平成28年	210	32.4	24.3	29.0	1.9	20.0	2.4	3.3	14.8	8.1	23.3	3.8
	平成23年	296	28.0	28.7	32.4	3.4	21.3	2.7	3.4	17.2	7.8	20.9	2.7
	平成18年	376	23.4	22.1	28.5	2.9	18.1	3.7	5.3	22.1	9.3	24.2	2.9
年齢別	39歳以下	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	40歳代	24	62.5	37.5	20.8	-	25.0	-	4.2	4.2	-	12.5	4.2
	50歳代	74	43.2	28.4	36.5	5.4	17.6	-	1.4	10.8	6.8	24.3	-
	60～64歳	36	33.3	16.7	30.6	2.8	33.3	-	2.8	11.1	11.1	30.6	-
	65歳以上	76	10.5	10.5	27.6	2.6	21.1	3.9	9.2	15.8	9.2	26.3	5.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
別事現在の有無仕	持っている	139	40.3	31.7	30.9	2.2	22.3	-	2.2	10.8	6.5	22.3	2.2
	持っていない	71	15.5	1.4	29.6	5.6	22.5	4.2	9.9	14.1	11.3	28.2	2.8
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

(3) 生活上の不安や悩み

問 22 あなたは、生活の上で、どんな不安や悩みがありますか。(〇印は3つまで)

生活上の不安や悩みについてみると、「生活費」(40.8%)の割合が最も高く、次いで「病気や事故」(34.1%)、「仕事」(23.2%)、「子ども」(21.8%)、「借金や負債の返済」(14.7%)、「住宅」(12.3%)となっている。

前回調査と比べると、「病気や事故」が9.7ポイント減少し、「仕事」で4.6ポイント、「子ども」で5.1ポイント増加している。

年齢別にみると、「生活費」「借金や負債の返済」などでは、若い年齢層で割合が高くなっている。

現在の就業形態別にみると、派遣・契約社員では「生活費」(62.5%)、「仕事」(43.8%)が他に比べ割合が高くなっている。

図 3-42 生活上の不安や悩み [複数回答]

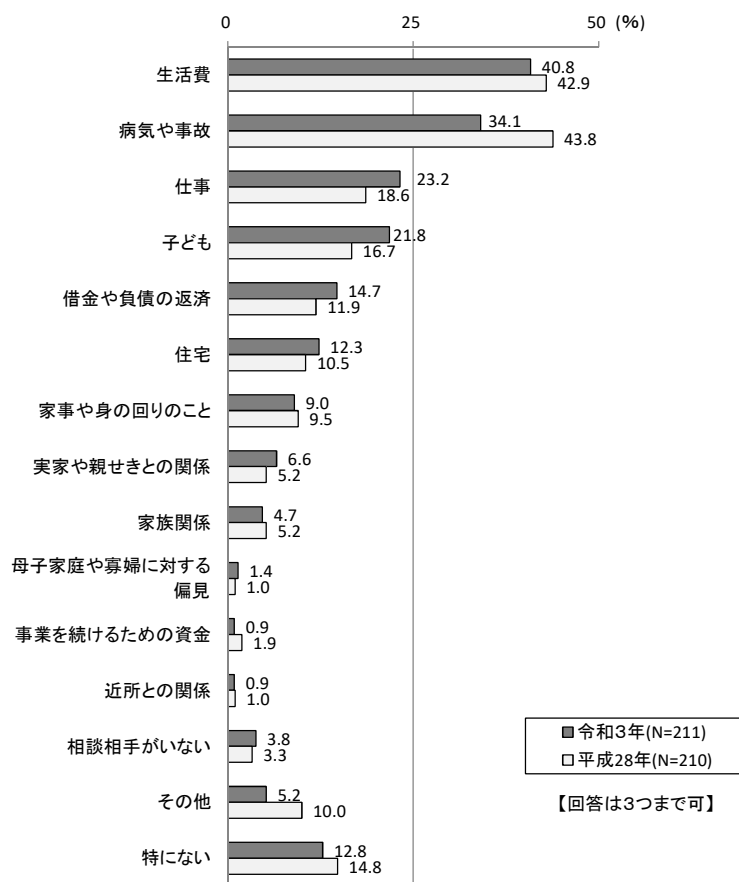


表 3-43 生活上の不安や悩み [複数回答]

		標本数	生活費	事業を続けるための資金	借金や負債の返済	仕事	住宅	家事や身の回りのこと	病気や事故	子ども	家族関係	実家や親せきとの関係	近所との関係	母子家庭や寡婦に対する偏見	相談相手がない	その他	特にない	無回答
全体		211 100.0	86 40.8	2 0.9	31 14.7	49 23.2	26 12.3	19 9.0	72 34.1	46 21.8	10 4.7	14 6.6	2 0.9	3 1.4	8 3.8	11 5.2	27 12.8	4 1.9
時系列	平成28年	210	42.9	1.9	11.9	18.6	10.5	9.5	43.8	16.7	5.2	5.2	1.0	1.0	3.3	10.0	14.8	2.9
	平成23年	296	41.9	3.4	6.4	18.6	12.8	7.4	40.5	14.9	3.4	1.7	1.0	0.7	6.8	4.4	17.2	2.7
	平成18年	376	43.4	3.5	11.7	18.1	10.9	7.2	46.0	14.9	5.3	3.5	2.4	1.1	3.7	2.1	16.8	2.7
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	66.7	8.3	41.7	29.2	12.5	-	20.8	25.0	-	4.2	-	-	-	-	12.5	-
	50歳代	74	40.5	-	20.3	37.8	16.2	5.4	31.1	27.0	8.1	5.4	-	-	5.4	6.8	5.4	1.4
	60～64歳	36	36.1	-	11.1	19.4	13.9	8.3	36.1	19.4	2.8	19.4	2.8	-	8.3	8.3	16.7	-
	65歳以上	76	35.5	-	2.6	7.9	7.9	15.8	39.5	17.1	3.9	2.6	1.3	3.9	1.3	3.9	18.4	3.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現在の就業形態別	自営業主	12	50.0	8.3	25.0	25.0	-	8.3	33.3	8.3	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7
	家族従業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	67	34.3	1.5	29.9	35.8	14.9	6.0	23.9	28.4	7.5	3.0	-	-	6.0	6.0	13.4	-
	派遣・契約社員	16	62.5	-	18.8	43.8	18.8	6.3	12.5	12.5	6.3	18.8	-	-	6.3	12.5	6.3	6.3
	パートタイマー	36	52.8	-	8.3	22.2	16.7	-	44.4	16.7	2.8	5.6	-	2.8	5.6	2.8	11.1	-
	臨時・日雇	4	100.0	-	-	50.0	-	-	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	内職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 困ったときの相談相手

問 23 あなたは何か困った問題が起きた場合、主に誰に相談していますか。

(○印は3つまで)

困ったことが起きた場合の相談相手としては、「子どもや家族」が71.6%で最も割合が高く、次いで、「友人・知人」が31.8%「実家や親せきの人」が19.0%など、身近な人を相談相手としていることが分かる。「自分で解決している」は27.0%であった。

前回調査と比べると、「子どもや家族」が6.4ポイント増加し、「友人・知人」では7.7ポイント、「実家や親せきの人」で6.2ポイント減少している。経年では「実家や親せきの人」が減少傾向にある。

年齢別にみると、50歳代では「相談相手がいない」(13.5%)の割合が、他に比べ高くなっている。

図3-43 困ったときの相談相手 [複数回答]

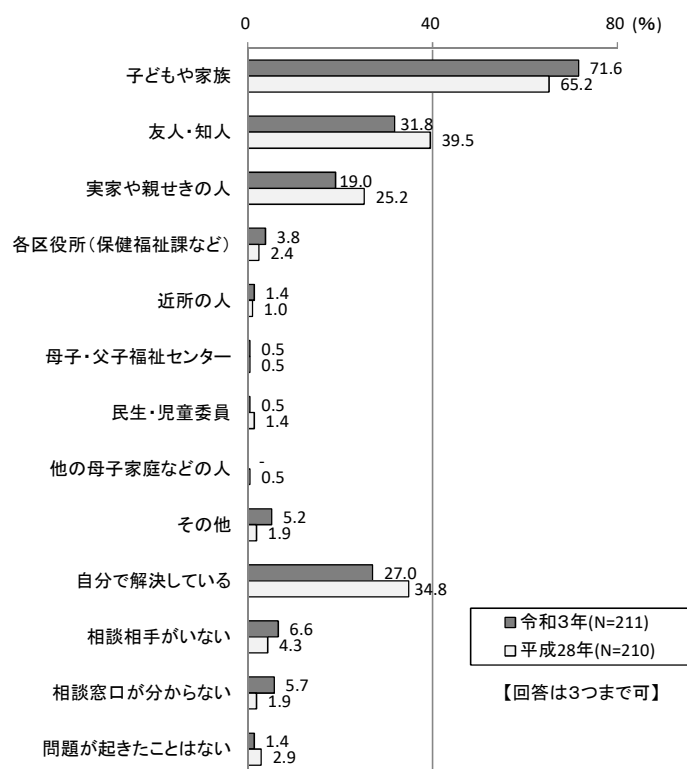


表3-44 困ったときの相談相手 [複数回答]

	標本数	(%)														
		子どもや家族	実家や親せきの人	近所の人	友人・知人	他の母子家庭などの人	母子・父子福祉センター	各区役所(保健福祉課など)	民生・児童委員	その他	自分で解決している	相談相手がいない	相談窓口が分からない	問題が起きたことはない	無回答	
全体	211	71.6	19.0	1.4	31.8	-	0.5	3.8	0.5	5.2	27.0	6.6	5.7	1.4	0.9	
時系列	平成28年	210	65.2	25.2	1.0	39.5	0.5	0.5	2.4	1.4	1.9	34.8	4.3	1.9	2.9	2.4
	平成23年	296	72.6	22.0	3.7	41.6	-	-	2.4	1.0	1.4	30.1	5.4	2.7	2.0	2.4
	平成18年	376	63.0	27.7	1.6	33.5	0.8	0.8	2.4	-	1.6	10.4	2.4	1.1	1.3	2.1
年齢別	39歳以下	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	40歳代	24	62.5	29.2	-	37.5	-	4.2	4.2	-	-	16.7	4.2	4.2	-	-
	50歳代	74	66.2	17.6	-	33.8	-	-	-	-	6.8	28.4	13.5	8.1	1.4	-
	60~64歳	36	86.1	33.3	2.8	33.3	-	-	-	-	-	5.6	25.0	-	2.8	-
	65歳以上	76	72.4	10.5	2.6	26.3	-	-	9.2	1.3	5.3	28.9	3.9	5.3	2.6	2.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 家事を担当している人

問 24 あなたの世帯では、炊事・掃除・洗濯などの家事を主に誰がしていますか。

(○印は1つ)

ふだん家事を主にしている人は、「自分本人」が 87.2%で最も割合が高く、次いで「子ども」「父母・義父母」がいずれも 5.7%となっている。前回調査から変化はみられない。

年齢別にみると、「子ども」は高い年齢層で割合が高くなり、「父母・義父母」は若い年齢層で割合が高くなっている。

図 3-44 家事を担当している人

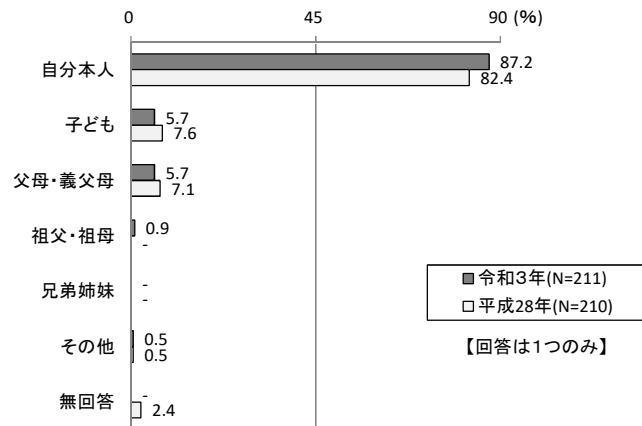


表 3-45 家事を担当している人

		標本数	自分本人	子ども	父母・義父母	祖父・祖母	兄弟姉妹	その他	無回答
全体		211	184	12	12	2	-	1	-
		100.0	87.2	5.7	5.7	0.9	-	0.5	-
時系列	平成28年	210	82.4	7.6	7.1	-	-	0.5	2.4
	平成23年	296	89.5	4.4	1.7	0.3	0.7	1.4	2.0
	平成18年	376	84.8	9.3	3.2	0.3	0.8	0.8	0.8
年齢別	39歳以下	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	75.0	-	20.8	4.2	-	-	-
	50歳代	74	87.8	1.4	9.5	1.4	-	-	-
	60～64歳	36	94.4	2.8	-	-	-	2.8	-
	65歳以上	76	86.8	13.2	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

問 25 ふだん家事をしている人が病気などの時は、代わりに主に誰が家事をしますか。
(〇印は1つ)

また、ふだん家事をしている人が病気などの時に代わりに家事をする人は、「子ども」が51.7%で最も割合が高く、次いで「自分本人」が24.2%、「父母・義父母」が2.4%となっている。「代わりに家事をする人はいない」も17.1%となっている。

前回調査と比べると、「子ども」が19.3ポイント、「自分本人」が13.2ポイント増加している。

図 3-45 家事担当者が病気の時に代わりに家事をする人

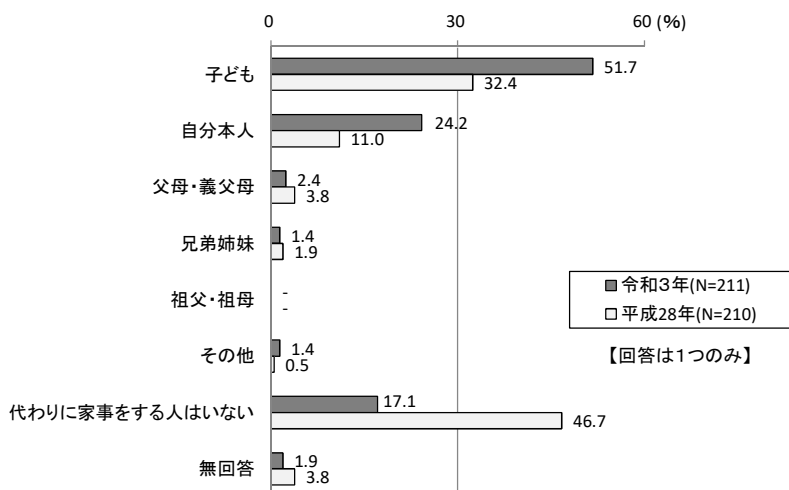


表 3-46 家事担当者が病気の時に代わりに家事をする人

		標本数	自分本人	子ども	父母・義父母	祖父・祖母	兄弟姉妹	その他	す代わりにはない家事を	無回答
全体		211	51	109	5	-	3	3	36	4
		100.0	24.2	51.7	2.4	-	1.4	1.4	17.1	1.9
時系列	平成28年	210	11.0	32.4	3.8	-	1.9	0.5	46.7	3.8
	平成23年	296	4.7	39.9	3.4	-	4.1	2.0	42.6	3.4
	平成18年	376	8.8	38.8	1.3	-	3.5	1.9	43.1	2.7
年齢別	39歳以下	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	37.5	33.3	8.3	-	4.2	-	16.7	-
	50歳代	74	20.3	50.0	2.7	-	1.4	-	23.0	2.7
	60~64歳	36	22.2	63.9	2.8	-	-	2.8	8.3	-
	65歳以上	76	25.0	52.6	-	-	1.3	2.6	15.8	2.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(%)

(6) 今後行いたい家族レクリエーション

問 26 あなたは今後、どのような家族レクリエーションをしたいと思いますか。

(○印は3つまで)

今後行いたい家族レクリエーションでは、「宿泊旅行」が 53.1%で最も割合が高く、次いで「映画・演劇鑑賞」が 27.0%、「遊園地・動物園など日帰りの行楽」が 18.0%を占める。「特にない」は 24.6%であった。

前回調査と比べ、特に大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、上位に挙げられた項目では、40～64歳のうち高い年齢層で割合が高くなる傾向にある。

図 3-46 今後行いたい家族レクリエーション [複数回答]

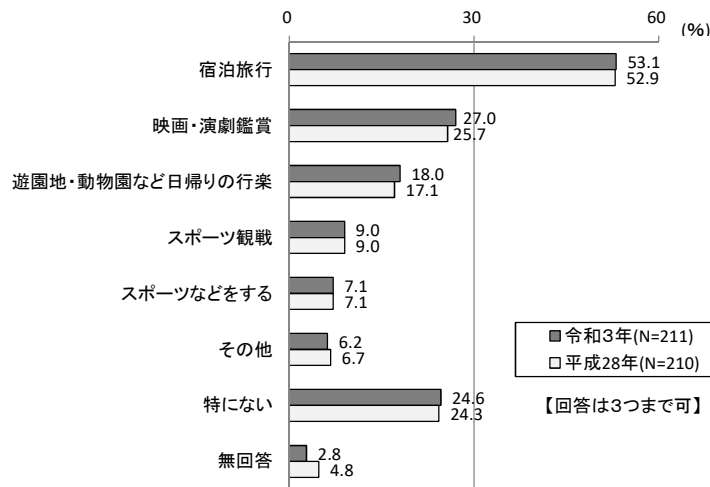


表 3-47 今後行いたい家族レクリエーション [複数回答]

		標本数	映画・演劇鑑賞	スポーツ観戦	スポーツなどをする	遊園地・動物園など日帰りの行楽	宿泊旅行	その他	特にない	無回答
全体		211	57	19	15	38	112	13	52	6
		100.0	27.0	9.0	7.1	18.0	53.1	6.2	24.6	2.8
時系列	平成28年	210	25.7	9.0	7.1	17.1	52.9	6.7	24.3	4.8
	平成23年	296	27.4	11.5	6.1	15.5	56.1	2.7	23.6	5.1
	平成18年	376	30.6	6.6	5.9	16.2	53.7	1.9	27.4	4.5
年齢別	39歳以下	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	12.5	12.5	4.2	8.3	45.8	8.3	37.5	4.2
	50歳代	74	31.1	9.5	8.1	16.2	59.5	9.5	17.6	-
	60～64歳	36	41.7	-	5.6	30.6	75.0	2.8	8.3	-
	65歳以上	76	19.7	11.8	7.9	17.1	39.5	3.9	35.5	6.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(7) 母子会（母子寡婦福祉会）の加入状況

問 27 ところであなたは、母子寡婦福祉会（母子会）に加入していますか。（〇印は1つ）

母子会（母子寡婦福祉会）への加入状況は、「加入している」が 1.4%、「加入していない」が 97.6%で、加入していない人が9割を超えている。

前回調査に比べ、「加入していない」が 3.8 ポイント増加している。

図 3-47 母子会（母子寡婦福祉会）の加入状況

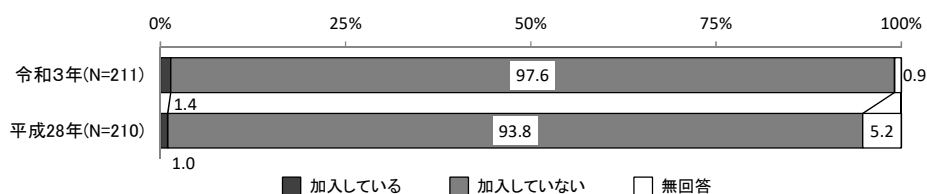


表 3-48 母子会（母子寡婦福祉会）の加入状況

		標本数	加入している (%)	加入していない (%)	無回答 (%)
全体		211	1.4	97.6	0.9
時系列	平成28年	210	1.0	93.8	5.2
	平成23年	296	0.7	95.3	4.1
	平成18年	376	2.1	84.0	13.8
年齢別	39歳以下	1	-	100.0	-
	40歳代	24	-	95.8	4.2
	50歳代	74	1.4	98.6	-
	60～64歳	36	2.8	97.2	-
	65歳以上	76	1.3	97.4	1.3
	無回答	-	-	-	-

問 27-1 【加入していると答えた方に】加入して良かったことはありますか。

(○印は3つまで)

母子会に加入している人の、加入して良かったことは、「レクリエーションなどが豊富」が66.7%（2人）、「知り合いが増えた」「新しい情報がもらえる」がいずれも33.3%（1人）となっている。

図 3-48 母子会（母子寡婦福祉会）に加入して良かったこと〔複数回答〕

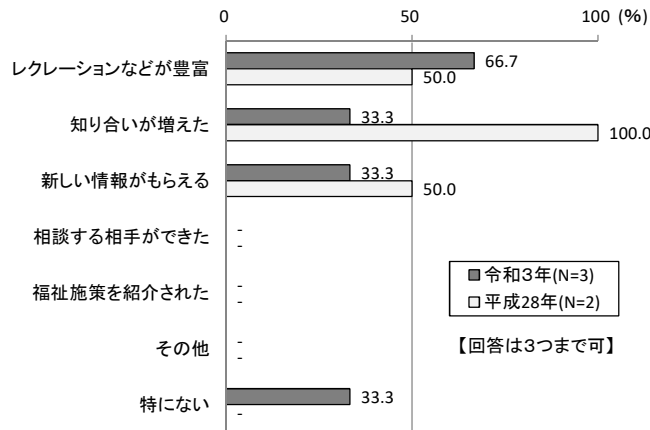


表 3-49 母子会（母子寡婦福祉会）に加入して良かったこと〔複数回答〕

		標本数	知り合いが増えた	相談する相手があった	福祉施策を紹介された	レクリエーションなどが豊富	新しい情報がもらえる	その他	特にない	無回答
全体		3	1	-	-	2	1	-	1	-
		100.0	33.3	-	-	66.7	33.3	-	33.3	-
前回	平成28年	2	100.0	-	-	50.0	50.0	-	-	-
年齢別	39歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50歳代	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	60～64歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	65歳以上	1	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理由別	死別	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	離婚	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
	その他の生別	1	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-
	かつて母子家庭ではなかった	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	

問 27-2 【加入していないと答えた方に】加入していない理由は。(〇印は1つ)

母子会に加入していない理由としては、「母子会を知らない」が76.2%で最も割合が高く、次いで「母子会に関心がない」が10.7%、「気が進まない」が6.3%となっている。前回調査との比較では、「母子会を知らない」が11.7ポイント増加している。年齢別にみると、若い年齢層で「母子会を知らない」の割合が高くなる傾向にある。

図 3-49 母子会（母子寡婦福祉会）に加入していない理由

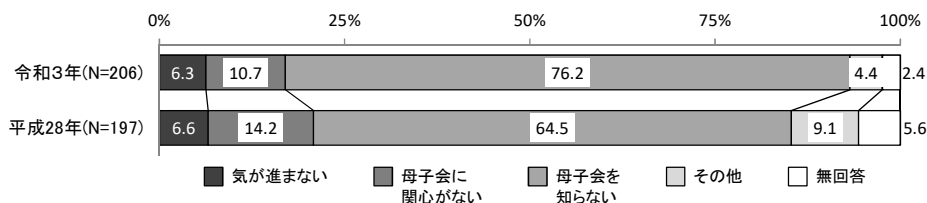


表 3-50 母子会（母子寡婦福祉会）に加入していない理由

		標本数	気が進まない	母子会に関心がない	母子会を知らない	その他	無回答
全体		206	13	22	157	9	5
		100.0	6.3	10.7	76.2	4.4	2.4
時系列	平成28年	197	6.6	14.2	64.5	9.1	5.6
	平成23年	282	6.7	8.9	68.4	6.7	9.2
	平成18年	316	5.4	12.7	68.7	7.9	5.4
年齢別	39歳以下	1	-	-	100.0	-	-
	40歳代	23	4.3	8.7	87.0	-	-
	50歳代	73	4.1	12.3	75.3	5.5	2.7
	60～64歳	35	8.6	11.4	77.1	2.9	-
	65歳以上	74	8.1	9.5	73.0	5.4	4.1
	無回答	-	-	-	-	-	-

問 27-3 【加入していないと答えた方に】では、今後はいかがですか。(〇印は1つ)

母子会への今後の加入意向としては、「加入したい」が6.8%、「加入したくない」が9.7%、「加入の必要性を感じない」が73.3%となっている。

前回調査と比べ、大きな差はみられない。

年齢別にみると、最も加入意向の割合が高いのは、60～64歳（11.4%）で、最も低いのは65歳以上（4.1%）となっている。

図 3-50 母子会（母子寡婦福祉会）への加入意向

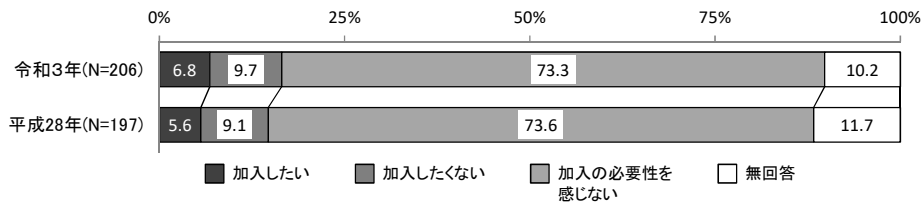


表 3-51 母子会（母子寡婦福祉会）への加入意向

		標本数	加入したい (%)	加入したくない (%)	加入の必要性を感じない (%)	無回答 (%)
全体		206	6.8	9.7	73.3	10.2
時系列	平成28年	197	5.6	9.1	73.6	11.7
	平成23年	282	7.4	10.3	70.6	11.7
	平成18年	316	8.2	10.4	69.0	12.3
年齢別	39歳以下	1	-	-	100.0	-
	40歳代	23	8.7	4.3	69.6	17.4
	50歳代	73	6.8	8.2	68.5	16.4
	60～64歳	35	11.4	11.4	74.3	2.9
	65歳以上	74	4.1	12.2	78.4	5.4
	無回答	-	-	-	-	-

8. 公的機関や制度の周知と利用及び要望

(1) 公的機関や制度の周知と利用状況

問 28 あなたは、次のような公的機関や制度を利用したことがありますか。次にあげる公的機関や制度についてそれぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。また、今後引き続き、あるいは新たに利用したいと思うのをすべて選んでください。

(ア) 利用したことがある公的機関や制度

利用したことがある公的機関や制度としては、「公共職業安定所(ハローワーク)」(45.0%)、「児童扶養手当」(44.1%)、「各区役所(保健福祉課など)」(35.5%)、「医療費支給制度」(15.2%)、「就学援助」「子ども・家庭相談コーナー」(いずれも12.8%)が続いている。

前回調査と比べると、「公共職業安定所(ハローワーク)」で6.0ポイント、「各区役所(保健福祉課など)」で8.4ポイント、「子ども・家庭相談コーナー」で6.6ポイント割合が増加している。

図3-51 利用したことがある公的機関や制度 [複数回答]

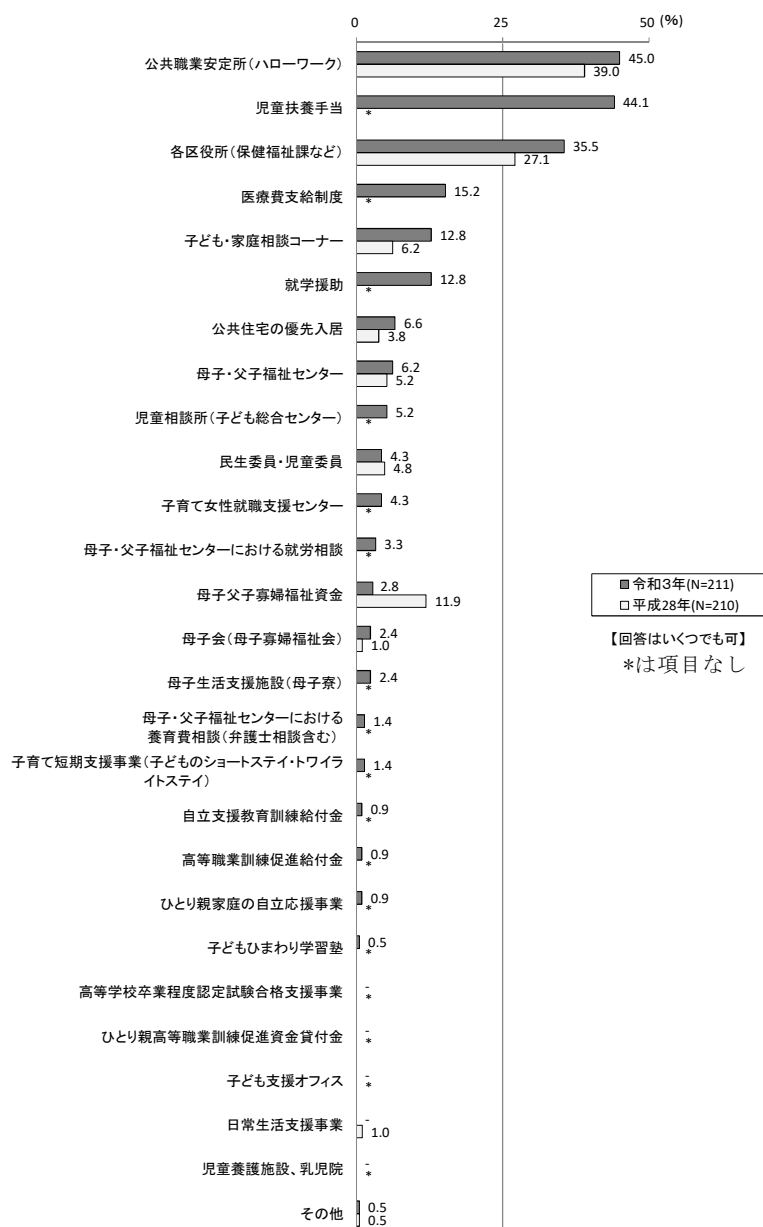


表3-52 利用したことがある公的機関や制度〔複数回答〕

		標本数	各区役所 (保健福祉課など)	子ども・家庭相談コーナー	民生委員・児童委員	母子会(母子寡婦福祉会)	母子・父子福祉センター	母子・父子福祉センターにおける就労相談	母子・父子福祉センターにおける養育費相談(弁護士相談含む)	児童扶養手当	母子父子寡婦福祉資金	公共職業安定所(ハローワーク)	子育て女性就職支援センター	自立支援教育訓練給付金	高等職業訓練促進給付金	高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	(%)
全体		211 100.0	75 35.5	27 12.8	9 4.3	5 2.4	13 6.2	7 3.3	3 1.4	93 44.1	6 2.8	95 45.0	9 4.3	2 0.9	2 0.9	-	-
時系列	平成28年	210	27.1	6.2	4.8	1.0	5.2		...	11.9	39.0
	平成23年	296	23.6	4.1	5.4	1.0	4.4		...	7.1	37.2
	平成18年	376	26.1	3.5	5.1	1.1	2.4		...	5.9	31.9
年齢別	39歳以下	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	54.2	33.3	4.2	-	4.2	-	-	62.5	4.2	41.7	4.2	4.2	4.2	-	-
	50歳代	74	43.2	17.6	2.7	4.1	12.2	5.4	4.1	67.6	4.1	58.1	6.8	-	1.4	-	-
	60~64歳	36	30.6	11.1	-	5.6	8.3	8.3	-	36.1	-	47.2	8.3	-	-	-	-
	65歳以上	76	25.0	1.3	6.6	-	-	-	-	18.4	2.6	32.9	-	1.3	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		標本数	ひとり親家庭の自立応援事業	ひとり親高等職業訓練促進資金貸付金	児童相談所(子ども総合センター)	子ども支援オフィス	子育て短期支援事業(子どものショートステイ・トワイライトステイ)	日常生活支援事業	子どもひまわり学習塾	就学援助	母子生活支援施設(母子寮)	公共住宅の優先入居	児童養護施設、乳児院	医療費支給制度	その他
全体		211 100.0	2 0.9	-	11 5.2	-	3 1.4	-	1 0.5	27 12.8	5 2.4	14 6.6	-	32 15.2	1 0.5
時系列	平成28年	210	1.0	3.8	0.5
	平成23年	296	0.7	-
	平成18年	376	1.1	-
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	-	-	8.3	-	8.3	-	4.2	29.2	-	12.5	-	37.5	-
	50歳代	74	2.7	-	6.8	-	1.4	-	-	17.6	2.7	12.2	-	23.0	-
	60~64歳	36	-	-	2.8	-	-	-	-	13.9	5.6	2.8	-	8.3	-
	65歳以上	76	-	-	3.9	-	-	-	-	2.6	1.3	1.3	-	3.9	1.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(イ) 知っているが、利用したことがない公的機関や制度

知っているが、利用したことがない公的機関や制度としては、「民生委員・児童委員」(49.8%)、「児童養護施設、乳児院」(42.7%)、「児童相談所(子ども相談センター)」(41.2%)、「子ども・家庭相談コーナー」(35.5%)、「母子生活支援施設(母子寮)」(33.6%)、「各区役所(保健福祉課など)」(27.0%)、「母子・父子福祉センターにおける就労相談」「公共住宅の優先入居」(いずれも27.0%)などが高くなっている。

前回調査と比較すると、「民生委員・児童委員」が4.6ポイント増加しており、「日常生活支援事業」で6.2ポイント、「母子・父子福祉センター」で5.3ポイント、「公共職業安定所(ハローワーク)」で3.9ポイント減少している。

図3-52 知っているが利用したことがない公的機関や制度 [複数回答]

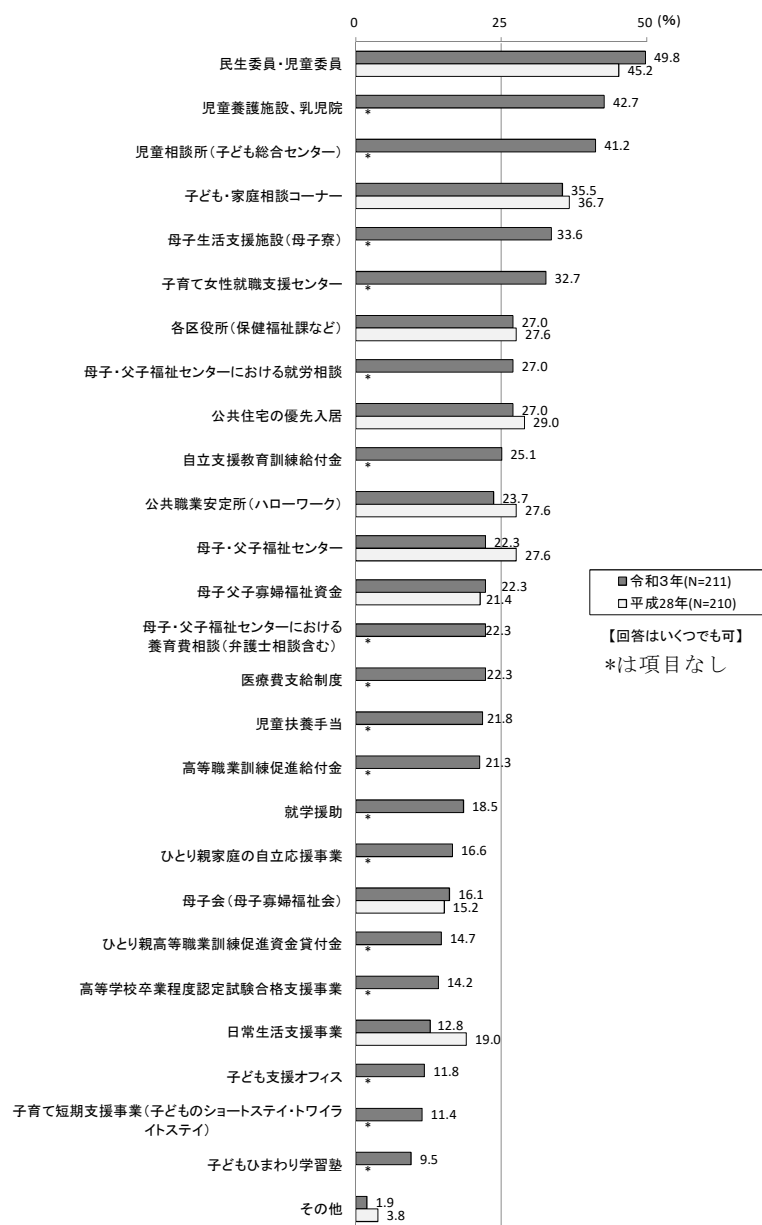


表3-53 知っているが利用したことがない公的機関や制度〔複数回答〕

		標本数	各区役所（保健福祉課など）	子ども・家庭相談コーナー	民生委員・児童委員	母子会（母子寡婦福祉会）	母子・父子福祉センター	母子・父子福祉センターにおける就労相談	母子・父子福祉センターにおける養育費相談（弁護士相談含む）	児童扶養手当	母子父子寡婦福祉資金	公共職業安定所（ハローワーク）	子育て女性就職支援センター	自立支援教育訓練給付金	高等職業訓練促進給付金	高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	(%)
全体		211 100.0	57 27.0	75 35.5	105 49.8	34 16.1	47 22.3	57 27.0	47 22.3	46 21.8	47 22.3	50 23.7	69 32.7	53 25.1	45 21.3	30 14.2	
時系列	平成28年	210	27.6	36.7	45.2	15.2	27.6		...	21.4	27.6
	平成23年	296	33.8	37.8	51.0	17.9	34.8		...	21.6	29.7
	平成18年	376	35.6	40.2	50.3	14.9	33.2		...	22.3	34.3
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	29.2	41.7	54.2	16.7	20.8	37.5	25.0	16.7	29.2	37.5	54.2	54.2	37.5	29.2	
	50歳代	74	21.6	40.5	54.1	18.9	24.3	36.5	25.7	14.9	25.7	20.3	36.5	23.0	20.3	14.9	
	60～64歳	36	41.7	38.9	61.1	13.9	25.0	22.2	22.2	27.8	25.0	27.8	33.3	27.8	25.0	8.3	
	65歳以上	76	25.0	27.6	39.5	14.5	19.7	17.1	18.4	27.6	15.8	21.1	22.4	17.1	15.8	11.8	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		標本数	ひとり親家庭の自立応援事業	ひとり親高等職業訓練促進資金貸付金	児童相談所（子ども総合センター）	子ども支援オフィス	子育て短期支援事業（子どものショートステイ・トワイライストステイ）	日常生活支援事業	子どもひまわり学習塾	就学援助	母子生活支援施設（母子寮）	公共住宅の優先入居	児童養護施設、乳児院	医療費支給制度	その他
全体		211 100.0	35 16.6	31 14.7	87 41.2	25 11.8	24 11.4	27 12.8	20 9.5	39 18.5	71 33.6	57 27.0	90 42.7	47 22.3	4 1.9
時系列	平成28年	210	19.0	29.0	3.8
	平成23年	296	19.3	-
	平成18年	376	22.1	2.9
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	20.8	20.8	58.3	16.7	12.5	12.5	12.5	29.2	41.7	41.7	45.8	29.2	-
	50歳代	74	21.6	18.9	40.5	12.2	12.2	17.6	10.8	21.6	40.5	31.1	50.0	20.3	2.7
	60～64歳	36	13.9	11.1	41.7	8.3	11.1	5.6	8.3	16.7	27.8	25.0	47.2	25.0	-
	65歳以上	76	11.8	10.5	36.8	11.8	10.5	11.8	7.9	13.2	27.6	19.7	32.9	21.1	2.6
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(ウ) 知らない公的機関や制度

知らなかった公的機関や制度としては、「子どもひまわり学習塾」(60.7%)、福岡県が実施する「子ども支援オフィス」(58.8%)、「子育て短期支援事業(子どものショートステイ・トワイライトステイ)」(57.8%)、「日常生活支援事業」(57.3%)、「高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」(56.4%)、「ひとり親高等職業訓練促進資金貸付金」(55.9%)、「母子会(母子寡婦福祉会)」「ひとり親家庭の自立応援事業」(いずれも53.1%)などが高くなっている。

前回調査と比較すると、「日常生活支援事業」で7.3ポイント、「母子父子寡婦福祉資金」で5.5ポイント、「母子・父子福祉センター」4.6ポイント増加しており、「各区役所(保健福祉課など)」で5.8ポイント減少している。

年齢別にみると、「子ども・家庭相談コーナー」「児童扶養手当」「子育て女性就職支援センター」などでは、比較的高い年齢層で制度を知らない傾向にある。

図3-53 知らない公的機関や制度〔複数回答〕

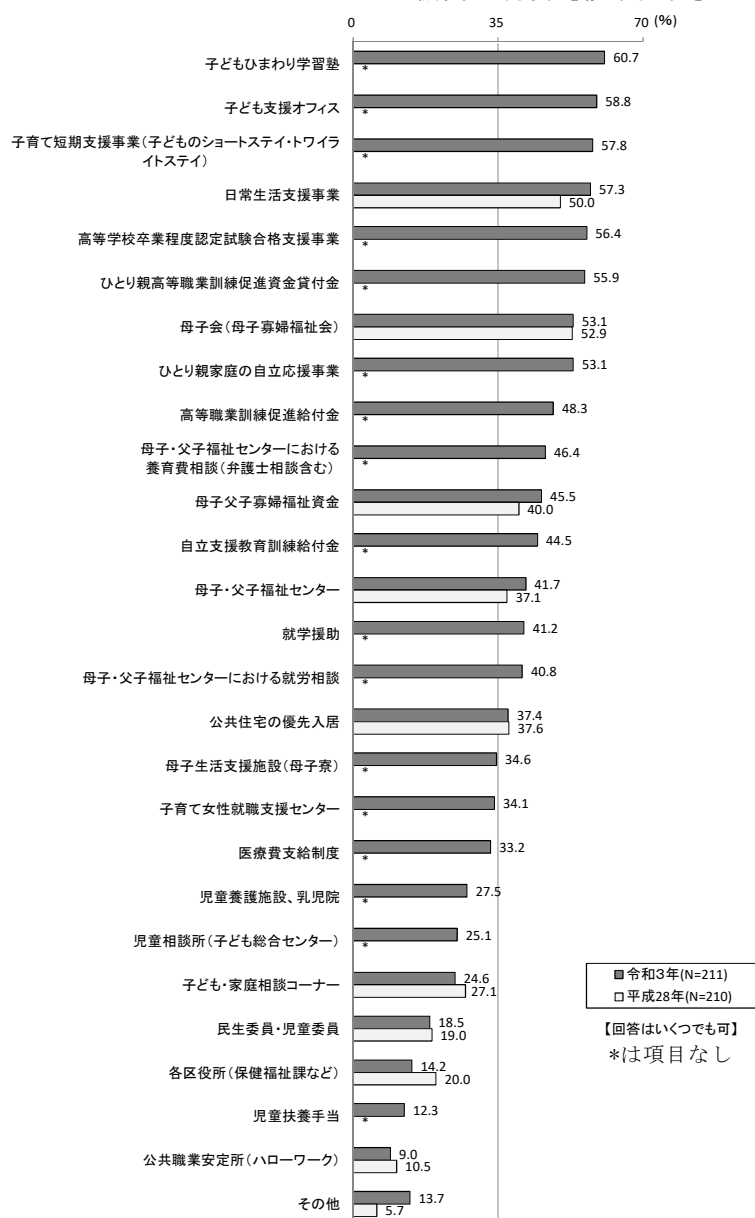


表3-54 知らない公的機関や制度〔複数回答〕

	標本数	各区役所（保健福祉課など）	子ども・家庭相談コーナー	民生委員・児童委員	母子会（母子寡婦福祉会）	母子・父子福祉センター	母子・父子福祉センターにおける就労相談	母子・父子福祉センターにおける養育費相談（弁護士相談含む）	児童扶養手当	母子父子寡婦福祉資金	公共職業安定所（ハローワーク）	子育て女性就職支援センター	自立支援教育訓練給付金	高等職業訓練促進給付金	(%)
															高等学校卒業程度認定試験合格支援事業
全体	211 100.0	30 14.2	52 24.6	39 18.5	112 53.1	88 41.7	86 40.8	98 46.4	26 12.3	96 45.5	19 9.0	72 34.1	94 44.5	102 48.3	119 56.4
時系列	平成28年	210	20.0	27.1	19.0	52.9	37.1		...	40.0	10.5
	平成23年	296	14.9	22.0	10.8	45.6	25.7		...	37.5	4.4
	平成18年	376	15.7	25.0	12.8	51.1	31.4		...	40.7	7.7
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	8.3	16.7	29.2	70.8	62.5	50.0	62.5	8.3	54.2	12.5	29.2	29.2	45.8
	50歳代	74	17.6	21.6	21.6	56.8	41.9	37.8	48.6	9.5	48.6	8.1	35.1	55.4	56.8
	60～64歳	36	8.3	27.8	13.9	58.3	41.7	47.2	52.8	19.4	50.0	2.8	36.1	47.2	50.0
	65歳以上 無回答	76 -	15.8 -	28.9 -	14.5 -	42.1 -	35.5 -	38.2 -	36.8 -	13.2 -	38.2 -	11.8 -	34.2 -	38.2 -	40.8 -

	標本数	ひとり親家庭の自立応援事業	ひとり親高等職業訓練促進資金貸付金	児童相談所（子ども総合センター）	子ども支援オフィス	子育て短期支援事業（子どものショートステイ・トワイライトステイ）	日常生活支援事業	子どもひまわり学習塾	就学援助	母子生活支援施設（母子寮）	公共住宅の優先入居	児童養護施設、乳児院	医療費支給制度	その他
														(%)
全体	211 100.0	112 53.1	118 55.9	53 25.1	124 58.8	122 57.8	121 57.3	128 60.7	87 41.2	73 34.6	79 37.4	58 27.5	70 33.2	29 13.7
時系列	平成28年	210	50.0	37.6	5.7
	平成23年	296	44.9	-
	平成18年	376	44.7	3.7
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	66.7	66.7	25.0	70.8	66.7	70.8	66.7	25.0	41.7	29.2	37.5	20.8
	50歳代	74	54.1	59.5	31.1	66.2	64.9	60.8	67.6	43.2	35.1	36.5	28.4	33.8
	60～64歳	36	61.1	63.9	30.6	66.7	63.9	69.4	66.7	47.2	41.7	47.2	27.8	44.4
	65歳以上 無回答	76 -	44.7 -	46.1 -	17.1 -	44.7 -	46.1 -	44.7 -	50.0 -	42.1 -	28.9 -	36.8 -	23.7 -	31.6 -

(2) 今後利用したい公的機関や制度

今後利用したい公的機関や制度では、「各区役所（保健福祉課など）」（11.8%）、「公共職業安定所（ハローワーク）」（4.7%）などが比較的高い割合を占めている。

前回調査との比較では、「公共職業安定所（ハローワーク）」で、いずれも7.2ポイント減少している。

年齢別にみると、「各区役所（保健福祉課など）」では比較的值高い年齢層で割合が高くなっている。

図3-54 今後利用したい公的機関や制度〔複数回答〕

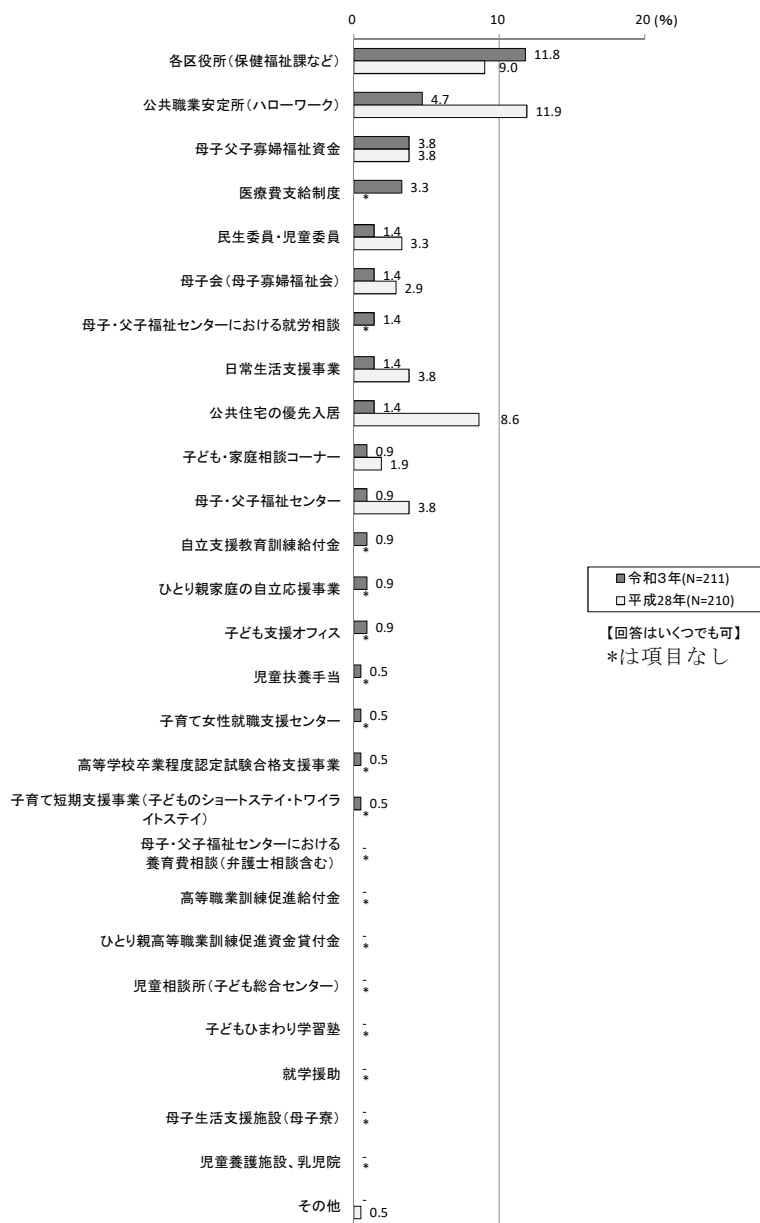


表3-55 今後利用したい公的機関や制度〔複数回答〕

		標本数	(%)													
			各区役所(保健福祉課など)	子ども・家庭相談コーナー	民生委員・児童委員	母子会(母子寡婦福祉会)	母子・父子福祉センター	母子・父子福祉センターにおける就労相談	母子・父子福祉センターにおける養育費相談(弁護士相談含む)	児童扶養手当	母子父子寡婦福祉資金	公共職業安定所(ハローワーク)	子育て女性就職支援センター	自立支援教育訓練給付金	高等職業訓練促進給付金	高等学校卒業程度認定試験合格支援事業
全体		211 100.0	25 11.8	2 0.9	3 1.4	3 1.4	2 0.9	3 1.4	-	1 0.5	8 3.8	10 4.7	1 0.5	2 0.9	-	1 0.5
時系列	平成28年	210	9.0	1.9	3.3	2.9	3.8		...	3.8	11.9
	平成23年	296	10.1	2.7	11.1	3.0	1.7		...	9.1	11.5
	平成18年	376	17.0	2.9	3.5	3.7	3.5		...	6.1	12.2
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	24	8.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	8.3	-	-	-	-	-	-
	50歳代	74	12.2	1.4	2.7	2.7	1.4	2.7	-	5.4	6.8	1.4	2.7	-	-	1.4
	60~64歳	36	11.1	-	-	-	-	-	-	5.6	11.1	-	-	-	-	-
	65歳以上	76	13.2	-	-	-	-	-	-	-	1.3	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家計の形態別	十分やっぴいける	21	9.5	-	-	-	-	-	-	-	9.5	-	-	-	-	-
	だいたいやっぴいける	80	15.0	1.3	1.3	-	-	-	-	1.3	3.8	-	-	-	-	-
	時々赤字になる	55	9.1	-	-	3.6	-	1.8	-	1.8	1.8	-	1.8	-	1.8	-
	とても足りない	51	11.8	2.0	3.9	2.0	3.9	3.9	-	2.0	11.8	7.8	2.0	2.0	-	-
無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		標本数												その他	無回答	
			ひとり親家庭の自立応援事業	ひとり親高等職業訓練促進資金貸付金	児童相談所(子ども総合センター)	子ども支援オフィス	子育て短期支援事業(子どものジョイトステイ・トワイライトステイ)	日常生活支援事業	子どもひまわり学習塾	就学援助	母子生活支援施設(母子寮)	公共住宅の優先入居	児童養護施設、乳児院			医療費支給制度
全体		211 100.0	2 0.9	-	-	2 0.9	1 0.5	3 1.4	-	-	-	3 1.4	-	7 3.3	-	171 81.0
時系列	平成28年	210	3.8	8.6	0.5	72.4
	平成23年	296	6.4	0.7	63.9
	平成18年	376	8.0	-	52.4
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	40歳代	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87.5
	50歳代	74	2.7	-	-	2.7	-	1.4	-	-	-	1.4	-	2.7	-	77.0
	60~64歳	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	77.8
	65歳以上	76	-	-	-	-	1.3	2.6	-	-	-	2.6	-	3.9	-	84.2
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家計の形態別	十分やっぴいける	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90.5
	だいたいやっぴいける	80	-	-	-	-	1.3	-	-	-	-	1.3	-	1.3	-	82.5
	時々赤字になる	55	1.8	-	-	3.6	-	3.6	-	-	-	1.8	-	5.5	-	80.0
	とても足りない	51	2.0	-	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	5.9	-	74.5
無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	

(3) 行政機関に対する要望

問 29 あなたは、寡婦に関する国や県・市町村の施策で、特にどのようなことを望んでいますか。(〇印は3つまで)

国や県・市の施策で要望したいこととしては、「年金・手当などを充実する」が60.7%で最も割合が高く、次いで「医療保障を充実する」(40.3%)、「職業訓練の場や働く機会を増やす」(22.3%)、「県営住宅や市町村営住宅を増やす」(14.2%)、「生活上の不安や悩みの相談窓口を充実する」(10.9%)が続いている。

前回調査と比べると、「生活上の不安や悩みの相談窓口を充実する」で3.8ポイント、「医療保障を充実する」で3.0ポイント減少している。

年齢別にみると、50歳代では「職業訓練の場や働く機会を増やす」(35.1%)の割合が他に比べて高く、60～64歳では「年金・手当などを充実する」(66.7%)の割合が高くなっている。

図3-55 行政機関に対する要望 [複数回答]

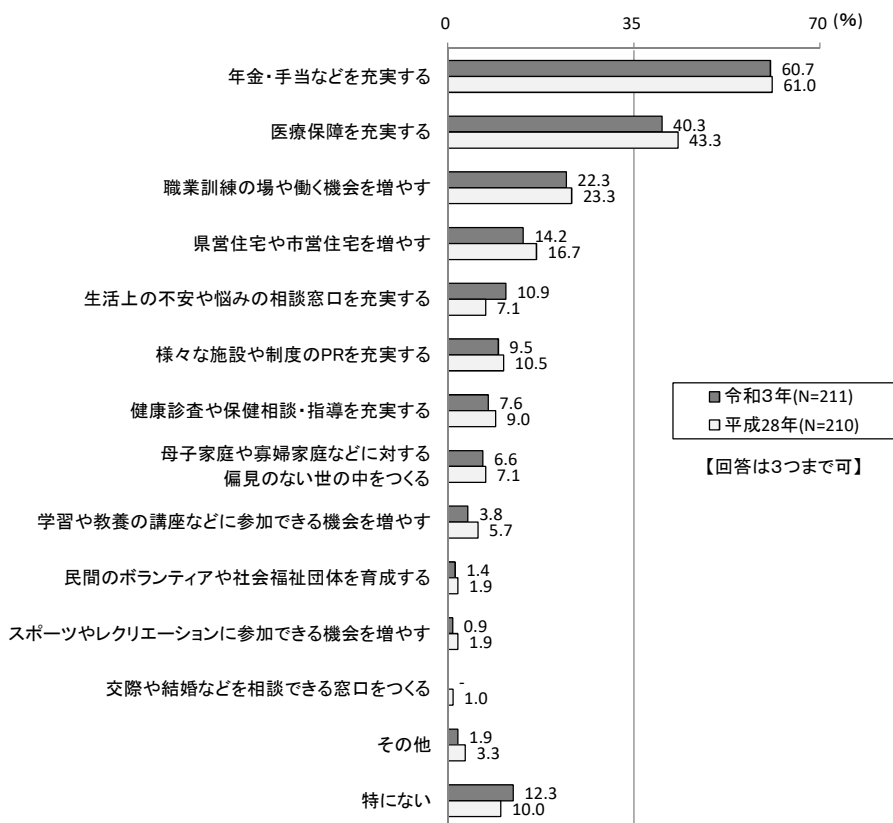


表 3-56 行政機関に対する要望 [複数回答]

																	(%)
		標本数	職業訓練の場や働く機会を増やす	県営住宅や市営住宅を増やす	年金・手当などを充実する	健康診査や保健相談・指導を充実する	医療保障を充実する	生活上の不安や悩みの相談窓口を充実する	学習や教養の講座などに参加できる機会を増やす	スポーツやレクリエーションに参加できる機会を増やす	交際や結婚などを相談できる窓口をつくる	様々な施設や制度のPRを充実する	民間のボランティアや社会福祉団体を育成する	母子家庭や寡婦家庭などに対する偏見のない世の中をつくる	その他	特にない	無回答
全体		211	47	30	128	16	85	23	8	2	-	20	3	14	4	26	18
		100.0	22.3	14.2	60.7	7.6	40.3	10.9	3.8	0.9	-	9.5	1.4	6.6	1.9	12.3	8.5
時系列	平成28年	210	23.3	16.7	61.0	9.0	43.3	7.1	5.7	1.9	1.0	10.5	1.9	7.1	3.3	10.0	9.5
	平成23年	296	18.2	15.2	52.4	9.1	40.2	11.8	2.4	1.4	2.0	7.1	1.7	7.8	1.7	7.4	20.6
	平成18年	376	16.2	21.0	59.6	14.1	46.8	13.6	6.6	2.4	2.9	7.4	4.0	7.4	1.3	6.1	11.7
年齢別	39歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	40歳代	24	20.8	12.5	58.3	8.3	41.7	-	-	-	-	8.3	-	-	8.3	25.0	4.2
	50歳代	74	35.1	17.6	60.8	6.8	39.2	10.8	2.7	-	-	5.4	1.4	8.1	1.4	5.4	5.4
	60～64歳	36	19.4	8.3	66.7	8.3	41.7	11.1	11.1	-	-	11.1	2.8	2.8	-	13.9	8.3
	65歳以上	76	11.8	14.5	59.2	7.9	40.8	14.5	2.6	2.6	-	13.2	1.3	9.2	1.3	14.5	11.8
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
別事の有無	持っている	139	28.1	13.7	61.2	7.2	40.3	10.1	4.3	-	-	9.4	1.4	5.8	2.2	10.1	7.2
	持っていない	71	11.3	15.5	60.6	8.5	40.8	12.7	2.8	2.8	-	9.9	1.4	8.5	1.4	16.9	9.9
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0